ITOMIC

小型電気給湯器
ＥＳＤシリーズ（D）
取扱説明書

ご使用の前に

安全上のご注意・・・・・・・・・・1
製品について・・・・・・・・・・・3
　各部のなまえ・・・・・・・・・・3
　仕様・・・・・・・・・・・・・・・5
ご確認ください・・・・・・・・・・7
　使用前の準備と確認・・・・・・7
　コントローラーの運転切替・・・7
　給湯器に給水する・・・・・・・・7

使いかた

お湯を沸かす・・・・・・・・・・・9
　再沸かし上げ・・・・・・・・・・9
出湯する・・・・・・・・・・・・・10
タイマー運転・・・・・・・・・・・11
　設定時間の変更・・・・・・・・11
　連続運転・・・・・・・・・・・ 14
夏 OFF 運転・・・・・・・・・・・14
省エネ運転・・・・・・・・・・・・19
運転停止日の設定・・・・・・・・20
スイッチロック機能・・・・・・・21
現在年月日・時刻の設定・・・・22
湯水入替機能・・・・・・・・・・23
　強制湯水入替・・・・・・・・・24
設定温度の変更・・・・・・・・・25
設定内容の確認・・・・・・・・・26

お手入れ

お手入れの方法・・・・・・・・・27
　保守点検項目と実施の目安・ 27
　長期間使用しないときは・・・27
　短期間使用しないときは・・・28
　凍結防止対策・・・・・・・・・29
　逃し弁の動作確認・・・・・・・30
　間欠エア抜き弁の動作確認・・31
　ストレーナーの清掃・・・・・32
　外装のお手入れ・・・・・・・・34

こんなときは

こんなときは・・・・・・・・・ 35
　故障かな？と思ったら・・・ 35
　エラー表示・・・・・・・・・ 37
　リセットの方法・・・・・・・ 39
アフターサービス・・・・・・・ 40

◆このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
◆本書を事前によくお読みになり、理解した上で正しくお使いください。
◆本書はお使いになる方がいつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。
ご使用の前に必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で正しくお使いください。
※本書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

警告表示の意味

⚠警告 この表示の欄は、「死亡、または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は『分解禁止』という意味です。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。）

重要事項：必ずお守りください

⚠警告	
	アース（D種接地）工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
	定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には±10%以内の環境でお使いください。 故障、火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、故障やケガの原因となります。
	屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。
	設置時、リセット操作時、メンテナンス作業時以外は前面パネルを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。

⚠警告

水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
腐食や感電、故障の原因になります。

水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント(電源プラグ付機種の場合)を設けないでください。
腐食や感電、故障の原因になります。

タンク内の湯温が高い場合には絶対に排水しないでください。
配管が破損して、やけどしたり漏水するおそれがあります。

逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。
やけどのおそれがあります。

給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、水栓金具に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意

満水質量に十分耐えられる強度を持った床面に必ず水平に設置してください。
故障の原因となります。

給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。
漏水の原因となります。

配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。
漏水の原因となります。

満水にしてから通電してください。
故障の原因となります。

貯湯温度が80℃未満の場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。
健康を害するおそれがあります。

床面に防水、排水処理を施してください。
漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

規定の給水圧力(静止時)にてご使用ください。
誤動作、故障の原因となります。

定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。
万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。

定期的に間欠エア抜き弁の動作確認を行ってください。
万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。

長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。
水質が悪化するおそれがあります。

本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防措置を施してください。
凍結により破損、漏水のおそれがあります。

排水管は耐熱性のある材質のものを使用してください。
漏水の原因となります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜いてください。
感電、発火のおそれがあります。

BCH(使用時のみ)および排水管に閉塞や異常がないことを確認してください。
故障や漏水の原因となります。

⚠注意

機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因となります。

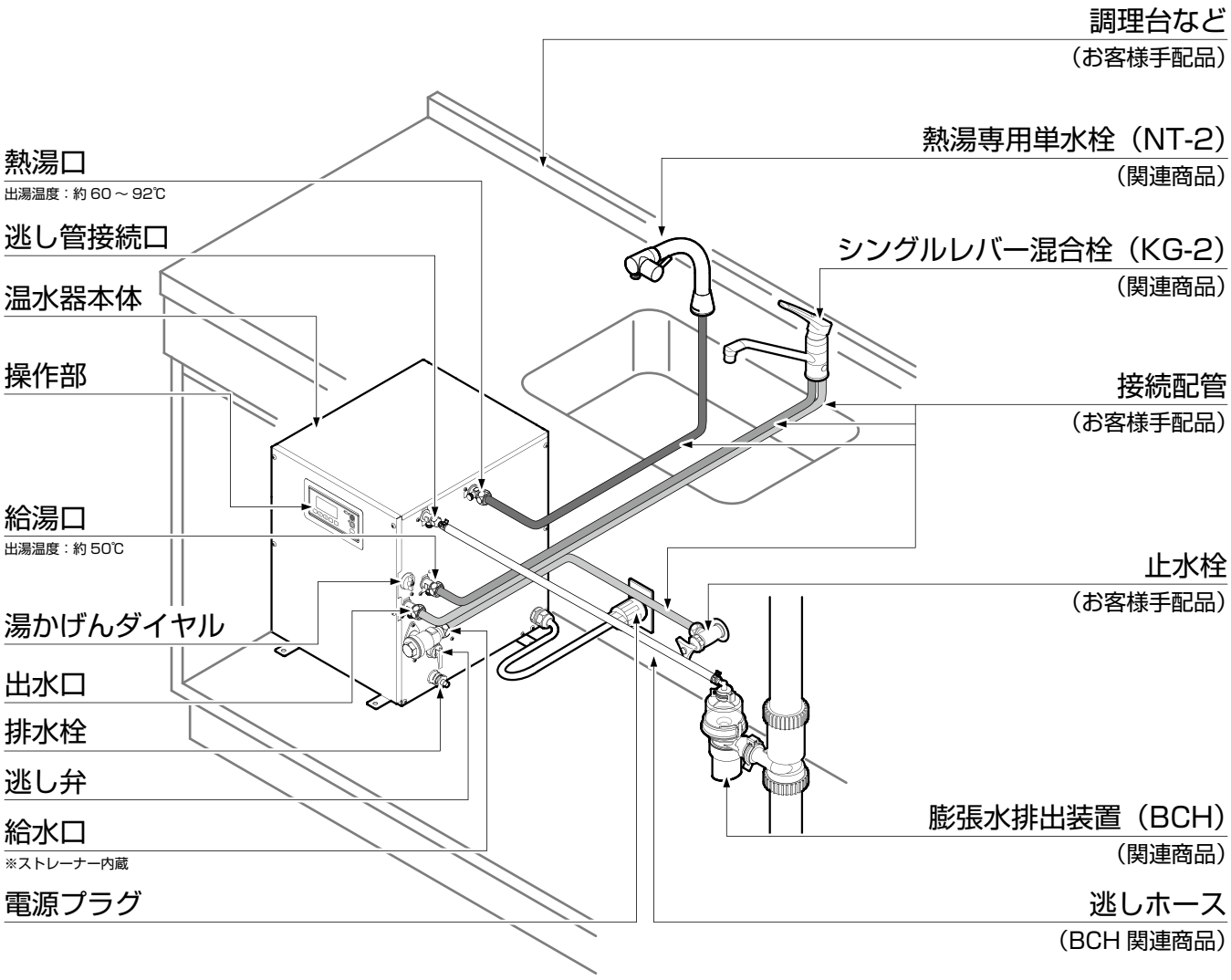
機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。
落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。

水道水(上水)以外は使用しないでください。
井戸水などを使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、漏電の原因となります。

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は使用しないでください。
健康を害するおそれがあります。

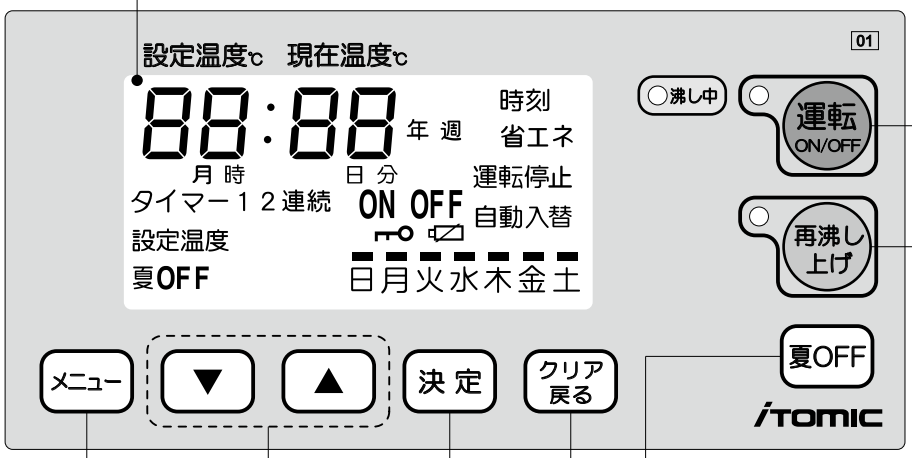
製品について

各部のなまえ



※まぜまぜ(MZ-N3)との組み合わせは別紙の工事要領書をご確認ください。

操作部



再沸し上げスイッチ
タイマー設定時間外や、夏OFF モードで設定した休止期間に強制的に沸かし上げを行うときに使用します。

表示部
温度、運転モードなどを表示します。

運転スイッチ
運転 ON ／ OFF の切り替えや、エラー発生時のブザー停止に使用します。

メニュースイッチ
各種設定を変更するときに使用します。

▼▲スイッチ
設定中の内容を変更するときに使用します。

決定スイッチ
設定内容を決定するときに使用します。

クリアスイッチ
設定を取り消したり、１つ前の操作に戻るときに使用します。

夏OFF スイッチ
夏場の節電・省エネ運転を設定するときに使用します。

表示部

タイマー
タイマー運転状態を表示します。

温度
設定温度、湯温、現在時刻などを表示します。

時刻
現在年月日、時刻を設定するときに表示します。

省エネ
省エネ運転が ON のときに表示します。

運転停止
運転停止機能が ON のときに表示します。

自動入替
自動湯水入替機能が ON のときに表示します。

電池切れ
電池残量が少なくなったときに点滅表示します。

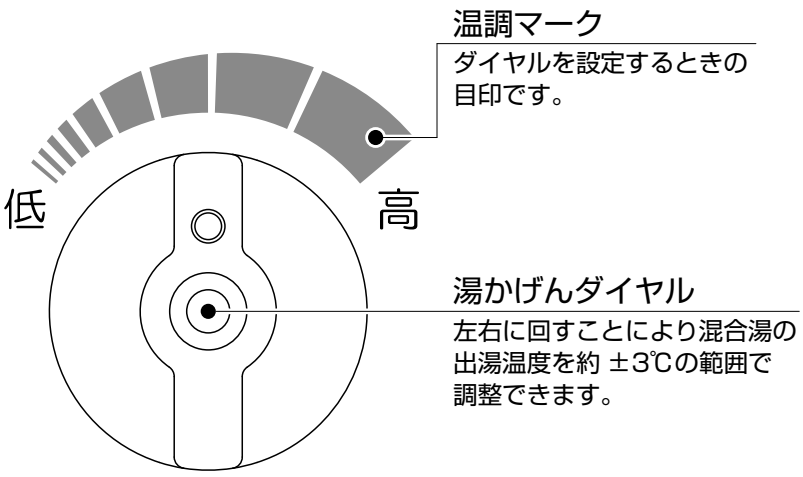
夏OFF
夏 OFF モードが ON のときに表示します。

ロック
スイッチをロックしているときに表示します。

設定温度
設定温度を変更するときに表示します。

曜日
運転曜日の上にーを表示します。

操作部



仕様

型番		ESD12	ESD20	ESD25	ESD30	ESD35	ESD50
貯湯量（L）		12	20	25	30	35	50
定格	電圧（V）	単相　200					
	周波数（Hz）	50／60					
	消費電力(kW)	1.5	2.0			3.1	
出湯温度		熱湯口：約 60 ～ 92℃　給湯口：約 50℃					
設定温度範囲		60 ～ 92℃					
外形寸法（mm） 幅×奥行×高さ		240×320×419	308×375×411	370×424×400	370×430×438	370×430×485	370×430×630
満水質量（kg）		約 22	約 31	約 37	約 45	約 51	約 68
使用条件	設置環境温度	0 ～ 40℃（凍結しないこと）					
	一次側使用水温	40℃ 以下（凍結しないこと）					
	使用水圧（静止時）	0.1 ～ 0.75MPa					
	最高使用圧力	0.1MPa					
	設置場所	屋内					
主要部品	ヒーター	シーズヒーター					
	逃し弁	0.095MPa					
	減圧弁	0.08MPa					
	電源コード	1m					
安全装置		高温排水検出、空焚き・過昇温検出					

沸き上がり時間の目安

型番	貯湯量	定格電圧	標準ヒーター容量	給水温度		
				5℃	15℃	25℃
ESD12	12L	100V	1.1kW	67分	59分	51分
ESD20	20L			111分	98分	85分
ESD25	25L			138分	123分	107分
ESD30	30L			166分	147分	128分
ESD35	35L			194分	171分	149分
ESD50	50L			276分	245分	213分
ESD12	12L	200V	1.5kW	49分	43分	38分
ESD20	20L		2.0kW	61分	54分	47分
ESD25	25L			76分	68分	59分
ESD30	30L			92分	81分	71分
ESD35	35L		3.1kW	69分	61分	53分
ESD50	50L			98分	87分	76分

※沸かし上げ温度 92℃で算出

ご確認ください

使用前の準備と確認

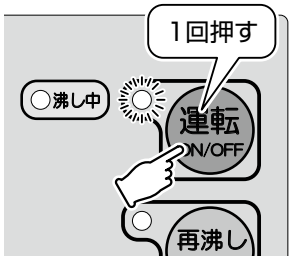
ご使用の前に以下のことを確認してください。

チェック項目	チェック
近くにガス類や引火物を保管していない。	☐
本体や配管の上に物を載せていない。	☐
逃し弁からの吹き出しがない。	☐

コントローラーの運転切替

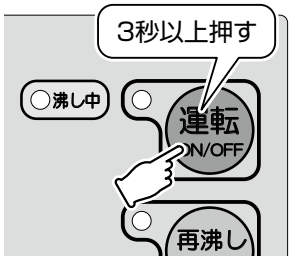
※各種設定の変更や、設定内容の確認などを行っている時は運転 ON ／ OFFの切り替えはできません

運転 ON/OFF を1回押すと…



ランプが点灯し、運転 **ON**になります。

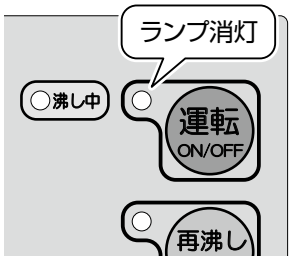
運転 ON/OFF を3秒以上長押しで…



ランプが消灯し、運転 **OFF**になります。

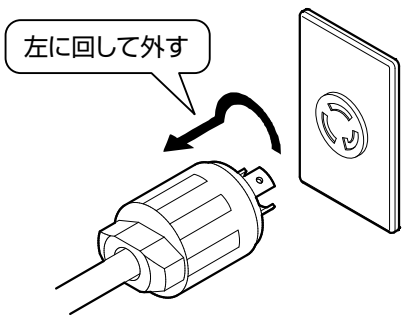
給湯器に給水する

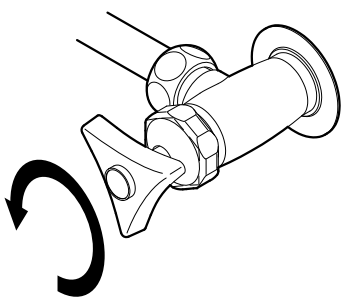
①運転がOFFになっていることを確認する。
運転がONになっている場合はOFFにする。



②電源プラグがコンセントから外れていることを確認する。
外れていない場合は、電源プラグをコンセントから外す。

③止水栓を開く。

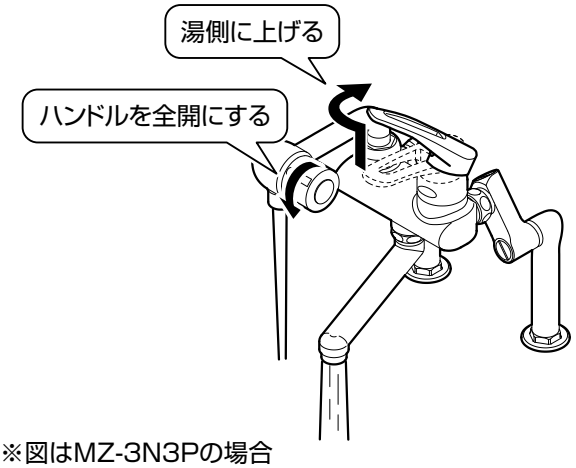




④混合栓の湯側、および熱湯栓を全開にして、給湯器のタンクが満水になるまで（水の量が安定するまで）流し続ける。
※給湯器のタンクが満水になるまでは空気を含んだ水が出ます。

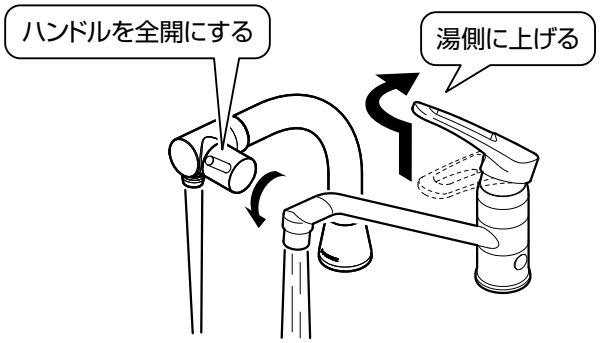
水の量が安定したら配管の汚れをタンク内から排出するため、そのまましばらく流し続ける。

まぜまぜ（MZ-N3P）

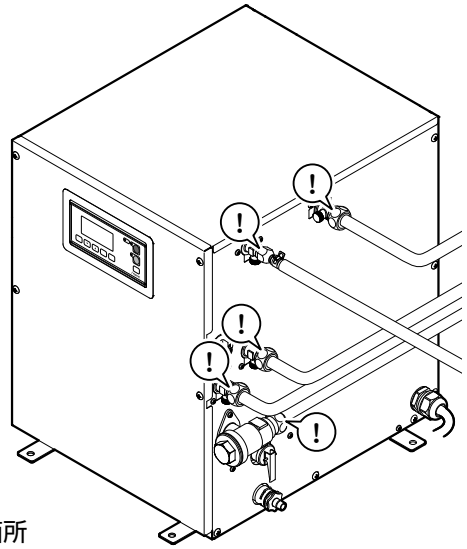


※図はMZ-3N3Pの場合

シングルレバー混合栓＋熱湯栓



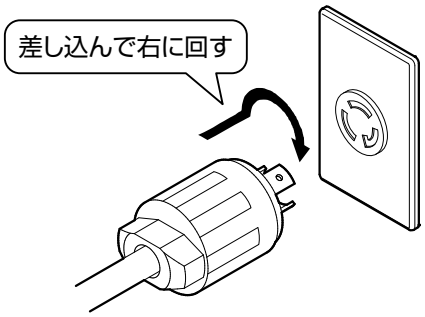
⑤混合水栓を閉め、各配管接続部からの漏水がないか確認する。



(!)は漏水確認箇所

お湯を沸かす

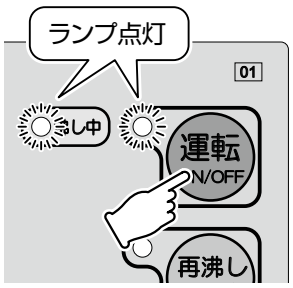
①電源プラグをコンセントに差し込む。



②（運転 ON/OFF）を押す。

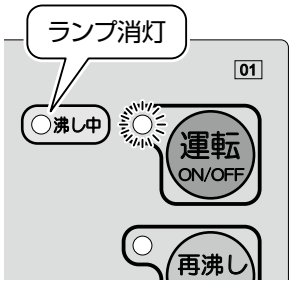
タイマー設定※にしたがって運転を開始し、
運転ランプ、沸し中ランプが点灯します。

※工場出荷時には【おすすめプログラム】が設定されています。P.11『おすすめプログラムについて』参照。



満水にしてから通電してください。
故障の原因となります。

③沸かし上げが完了すると自動でヒーターへの通電が止まり、沸し中ランプが消灯します。
（沸かし上げにかかる時間の目安はP.6『沸き上がり時間の目安』を参照）

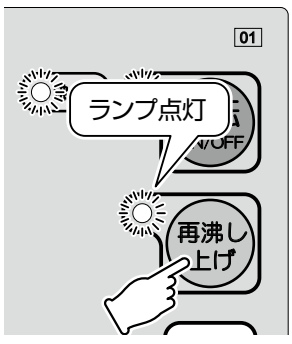


再沸かし上げ

タイマー設定時間外や夏OFFモードなどで運転停止中に強制的にお湯を沸かします。
運転中、運転停止中どちらでも再沸かし上げすることが可能です。

①（再沸し上げ）を押す。

設定温度まで沸かし上げを開始し、沸し中ランプが点灯します。

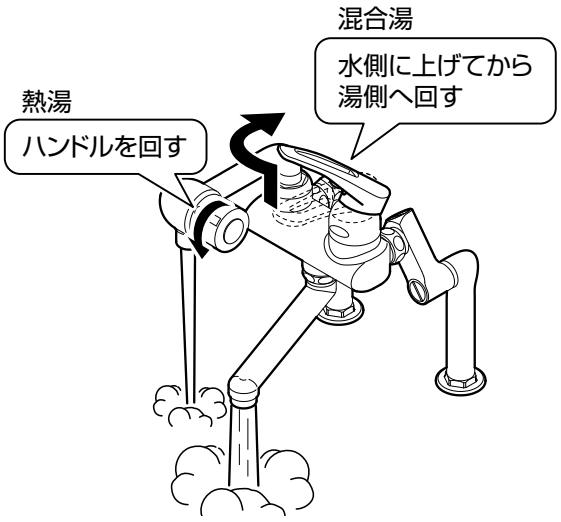


②沸かし上げが完了すると自動でヒーターへの通電が止まり、沸し中ランプ、再沸し上げランプが消灯します。
（沸かし上げにかかる時間の目安はP.6『沸き上がり時間の目安』を参照）

出湯する

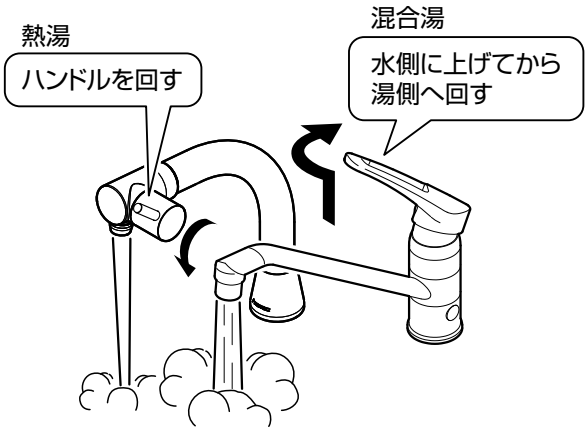
●混合湯を出すときは、一度水を出してから湯側に開き、温度を調節してください。
●熱湯を出すときは、熱湯栓のハンドルを前方に回してください。

まぜまぜ（MZ-N3P）



※図はMZ-3N3Pの場合

シングルレバー混合栓＋熱湯栓

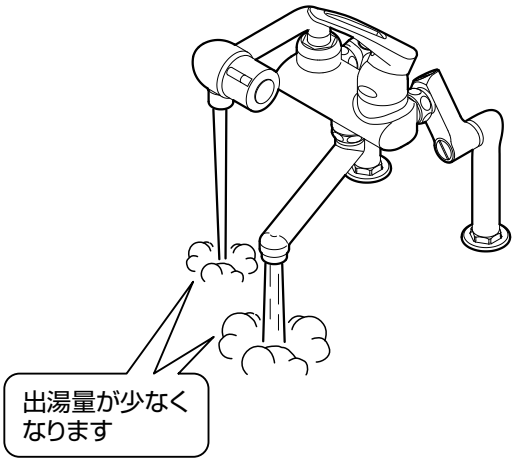


お湯を出すときは、必ず水を出してからお湯を出してください。
やけどをしたり、排水管などを破損する原因となります。

混合湯、熱湯の同時出湯について

混合湯と熱湯を同時に出す際には、以下の内容にご注意ください。

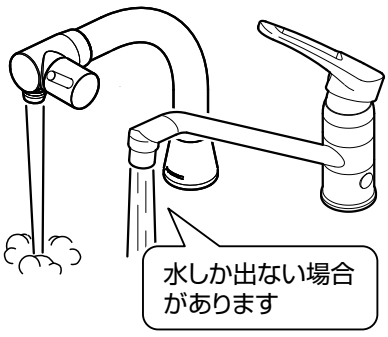
まぜまぜ（MZ-N3P）



※図はMZ-3N3Pの場合

混合栓、熱湯栓両方からお湯が出ますが、**共に出湯量は少なくなります。**

シングルレバー混合栓＋熱湯栓



熱湯優先となっているため、熱湯栓からの出湯量によっては混合水から**水しか出ない場合があります。**

タイマー運転

おすすめプログラムについて

●【おすすめプログラム】とは、給湯器を簡単にお使いいただくための工場出荷時にセット済みのタイマー設定です。使用開始と同時にタイマー運転が可能です。

●【おすすめプログラム】は下表のように設定されています。

設定内容	タイマー1	タイマー2
運転時間	6:30 ～ 18:30	6:30 ～ 12:30
運転曜日	月～金	設定なし

※【おすすめプログラム】以外の設定で運転を行いたい場合は下記『タイマー設定のしかた』を参照し、設定を変更してください。

タイマー設定のしかた

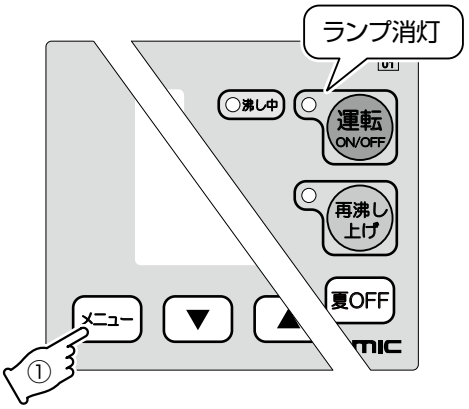
タイマーはタイマー１、タイマー２の２設定が可能です。

設定時間の変更

設定例）タイマー１の設定を下記内容に変更する。
運転曜日：月曜～土曜
運転時間：9:00 ～ 19:00

①運転停止中（運転ランプ消灯中）に［メニュー］を押す。

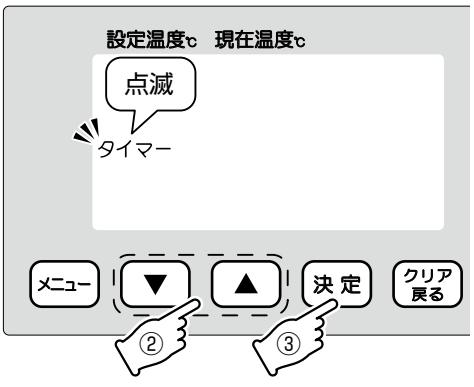
設定モードに入ります。



②［▼］［▲］を押して、「タイマー」を選択する。

③［決 定］を押す。

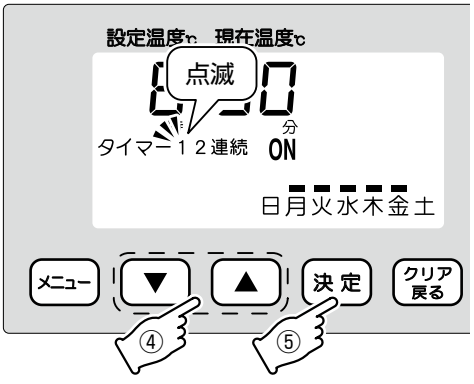
タイマー設定モードに入ります。



④［▼］［▲］を押して、「タイマー 1」を選択する。

⑤［決 定］を押す。

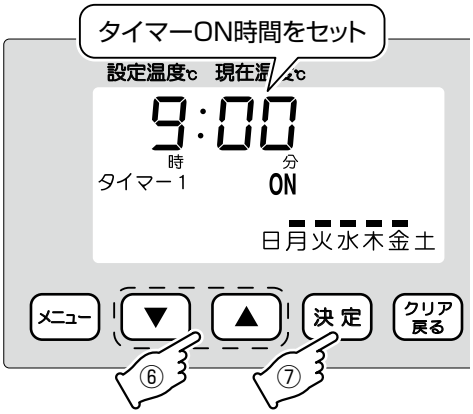
タイマー 1のON時間設定画面になります。



⑥ ▼ ▲ を押して、タイマー ON時間を「9:00」にセットする。

⑦ 決定 を押す。

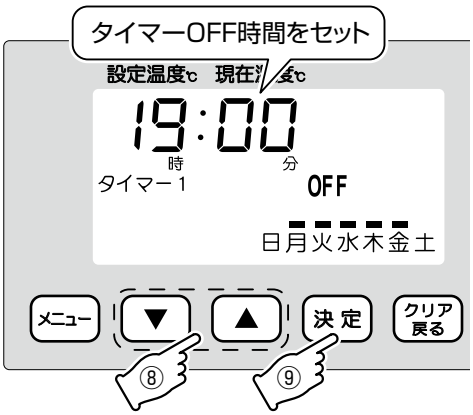
タイマー 1のON時間が設定されました。
タイマー 1のOFF時間設定画面になります。



⑧ ▼ ▲ を押して、タイマー OFF時間を「19:00」にセットする。

⑨ 決定 を押す。

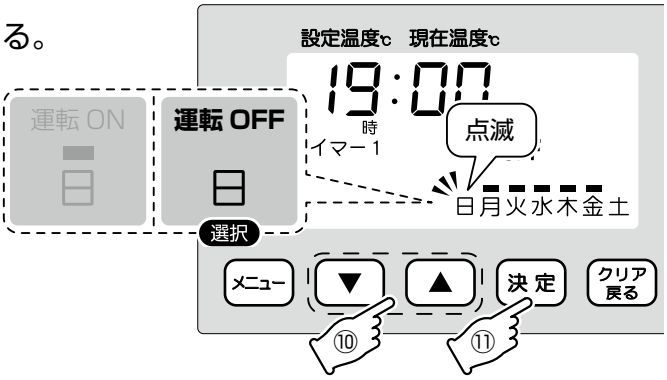
タイマー 1のOFF時間が設定されました。
「日」が点滅し、日曜日の運転設定選択画面になります。



⑩ ▼ ▲ を押して運転 OFFを選択する。

⑪ 決定 を押す。

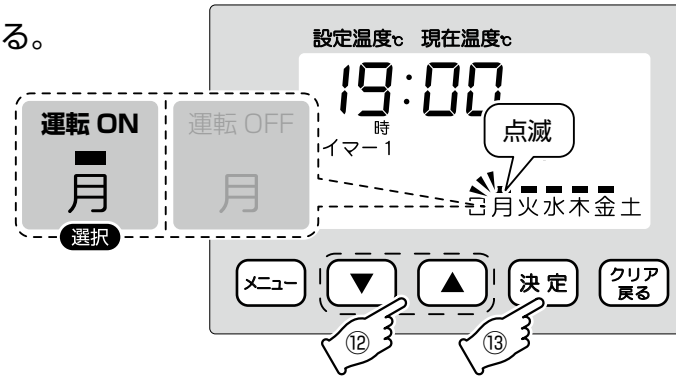
日曜の運転 OFFが設定されました。
「月」が点滅し、月曜日の運転設定選択画面になります。



⑫ ▼ ▲ を押して運転 ONを選択する。

⑬ 決定 を押す。

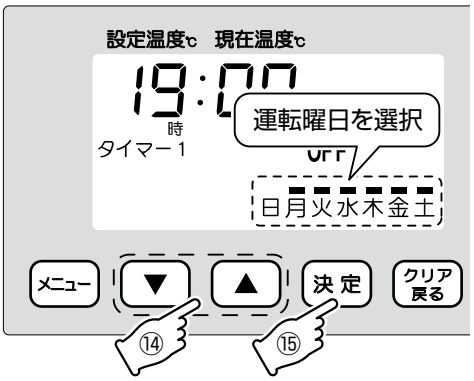
月曜の運転 ONが設定されました。
「火」が点滅し、火曜日の運転設定選択画面になります。



⑭手順⑩～⑬を繰り返して、土曜日までの運転 ON ／ OFFを選択する。

⑮ 決 定 を押す。

タイマー 1が設定されました。
初期画面に戻ります。



その他のタイマー設定について

●タイマー２を設定する場合は、手順④で「タイマー２」を選択してください。

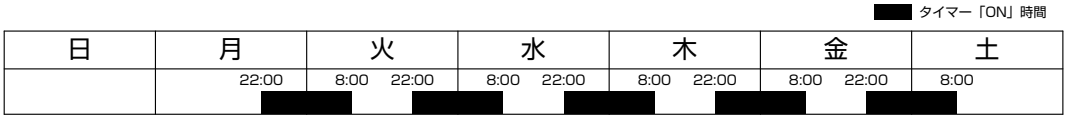
●タイマー設定は、次のような設定も可能です。

設定例１)曜日によって違う時間帯で運転を行う設定

タイマー１設定内容：月～金　6:30「ON」　18:30「OFF」
タイマー２設定内容：土　6:30「ON」　12:30「OFF」

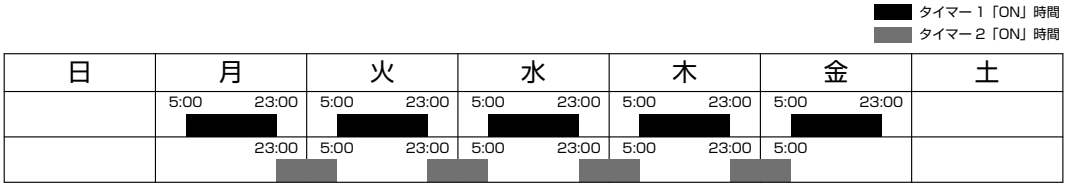
設定例２)日をまたぐ設定

タイマー設定内容：月～金　22:00「ON」　8:00「OFF」



設定例３)１週間のうち一定期間連続運転する設定

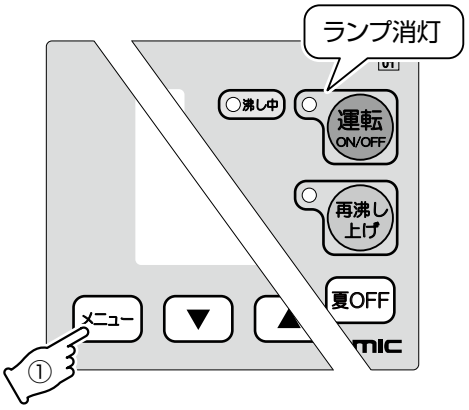
(月 5:00「ON」～金 23:00「OFF」)
タイマー１設定内容：月～金　5:00「ON」　23:00「OFF」
タイマー２設定内容：月～木　23:00「ON」　5:00「OFF」



連続運転 ※毎日 24時間運転する場合に使用します。

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に メニュー を押す。

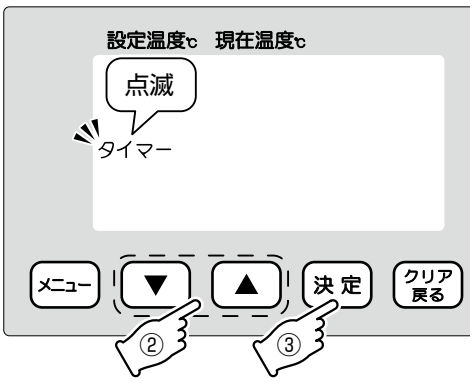
設定モードに入ります。



②▼ ▲を押して「タイマー」を選択する。

③決 定を押す。

タイマー設定モードに入ります。

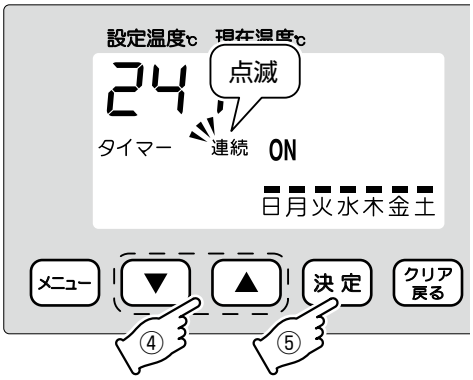


④▼ ▲を押して「連続」を選択する。

⑤決 定を押す。

連続運転が設定されました。初期画面に戻ります。

※連続運転を解除する場合はタイマー１、またはタイマー２を設定する。



夏OFF運転

設定された期間内の運転を停止したり、タイマー運転を前倒しで行う、夏場を想定した節電運転機能です。月単位で１～６カ月間の設定が可能です。工場出荷時はOFFに設定されています。

※運転停止日と重なった期間で設定されている場合は夏OFF運転を優先して行います。
※初期値は７月～９月が夏 OFF(Sd-1)になっています。※各モード(Sd-1 ～ 3)を組み合わせた設定はできません。

①運転中(運転ランプ点灯中)に

夏OFF を押す。

「夏 OFF」が液晶に表示されます。

※夏OFFを解除する場合は、運転中(運転ランプ点灯中)に 夏OFF を押す。

※夏 OFF運転が設定されている間 (「夏 OFF」表示中)は 、毎年設定どおりの運転を行います。

夏OFF運転の開始設定可能月

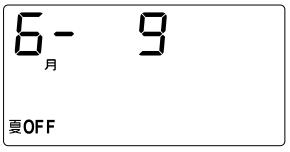
夏OFF運転を開始できる月は5月～10月です。

1月 2月 3月 4月 **5月 6月 7月 8月 9月 10月** 11月 12月

設定例 1）6月開始→9月終了

5月 **6月 7月 8月 9月** 10月

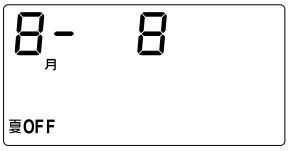
液晶画面の表示



設定例 2）8月開始→8月終了

5月 6月 7月 **8月** 9月 10月

液晶画面の表示

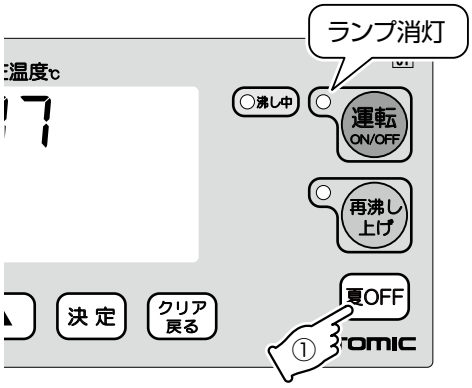


夏OFF運転の変更（モード名：Sd-1）

設定された期間内の運転を停止させる機能です。

①運転停止中（運転ランプ消灯中）に 夏OFF を押す。

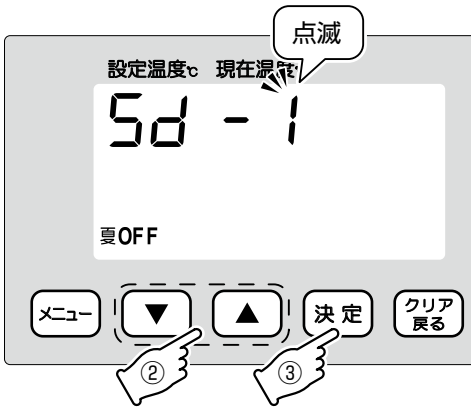
夏OFF運転設定モードに入ります。



②▼ ▲を押して、「Sd - 1」を選選択する。

③決 定を押す。

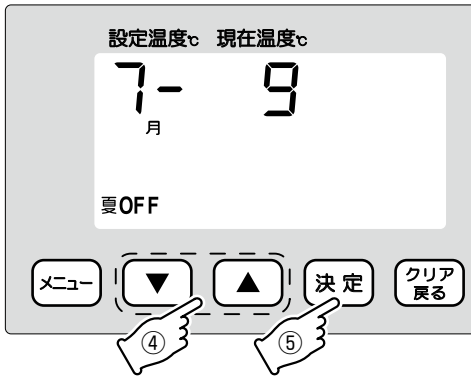
夏OFF期間選択画面になります。



④▼ ▲を押して、夏OFF期間を選択する。

⑤決 定を押す。

夏OFF期間が設定されました。
初期画面に戻ります。



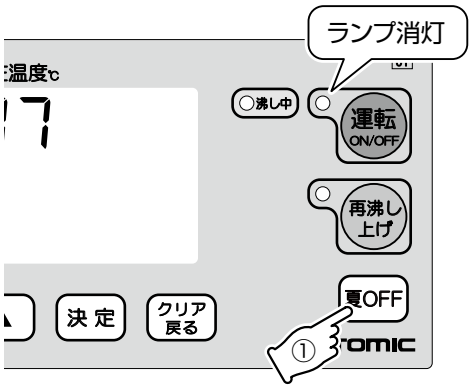
指定曜日運転モードの設定（モード名：Sd-2）

設定された期間内で、特定の曜日だけ運転をさせる機能です。

※運転時間はタイマー１、２の設定内容で行われます。
※タイマー１、２で運転 ONに設定していない曜日も選択できます。

①運転停止中（運転ランプ消灯中）に 夏OFF を押す。

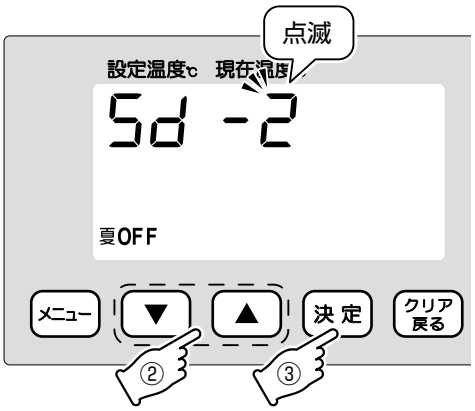
夏 OFF運転設定モードに入ります。



②▼ ▲を押して、「Sd -2」を選択する。

③決 定を押す。

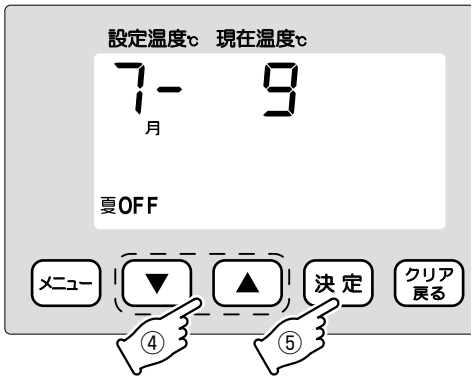
指定曜日運転期間選択画面になります。



④▼ ▲を押して、指定曜日運転をする期間を選択する。

⑤決 定を押す。

指定曜日運転期間が設定されました。
曜日選択画面になります。

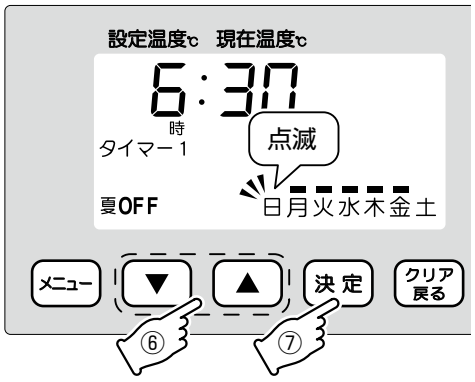


⑥▼ ▲を押して、運転させたい曜日を選択する。

※運転曜日の選択方法はP.11『タイマー設定のしかた』手順⑩～⑬を参照してください。

⑦決 定を押す。

指定曜日運転が設定されました。
初期画面に戻ります。



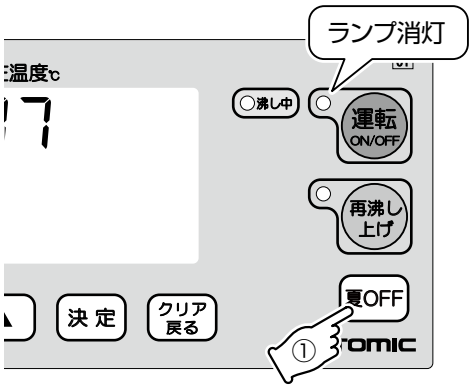
サマータイムの設定（モード名：Sd-3）

設定された期間内にタイマー運転を１時間、または２時間前倒しさせて運転する機能です。

※前倒しする時間はタイマー１、２両方に適用されます。

①運転停止中（運転ランプ消灯中）に 夏OFF を押す。

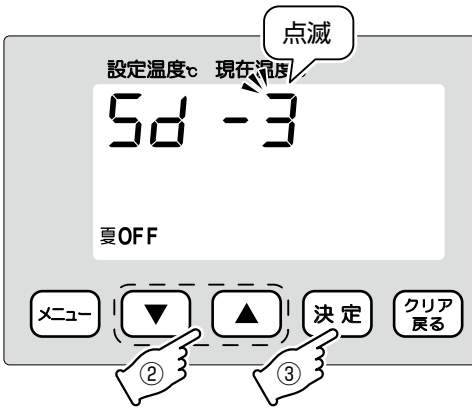
夏OFF運転設定モードに入ります。



②▼ ▲を押して、「Sd -3」を選選択する。

③決 定を押す。

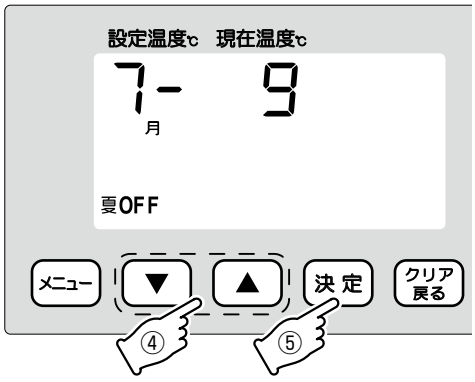
サマータイム運転期間選択画面になります。



④▼ ▲を押して、サマータイム運転をする期間を選択する。

⑤決 定を押す。

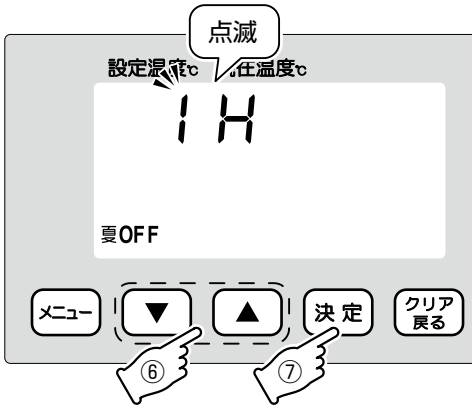
サマータイム運転期間が設定されました。
サマータイム選択画面になります。



⑥▼ ▲を押して、「1H」または「2H」を選択する。

⑦決 定を押す。

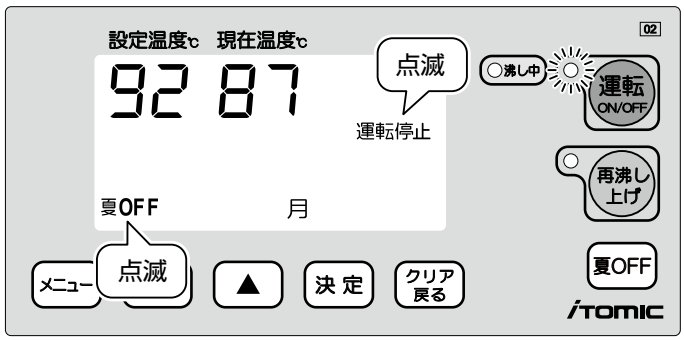
サマータイム運転が設定されました。
初期画面に戻ります。



【夏OFF 運転時の表示】

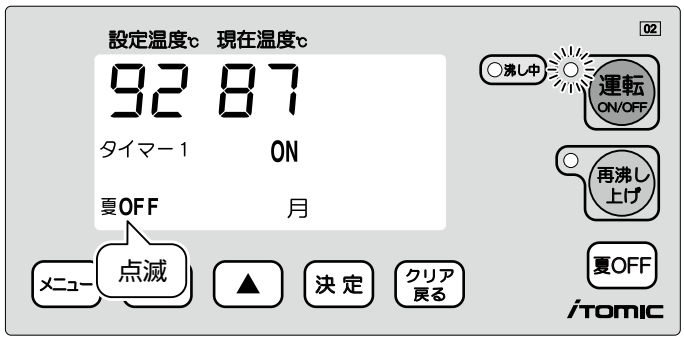
夏OFF運転中は表示部に以下の内容が表示されています。

夏OFF 期間（モード名：Sd-1）の表示



●「運転停止」と「夏OFF」の表示が、3秒点灯 1秒消灯の間隔で点滅します。

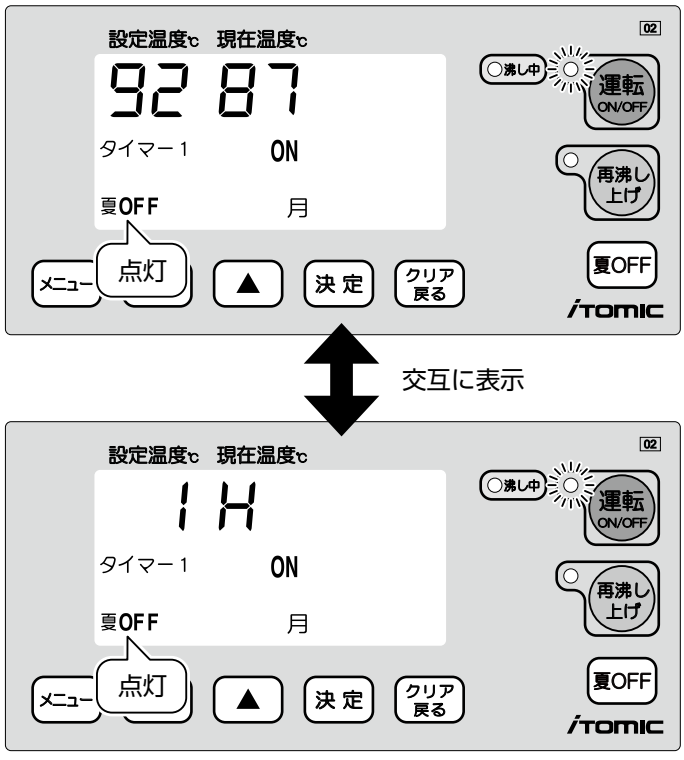
指定曜日運転モード（モード名：Sd-2）の表示



●「夏OFF」の表示が、3秒点灯 1秒消灯の間隔で点滅します。

※左図はタイマー 1 運転中の場合。

サマータイム（モード名：Sd-3）の表示



●「夏OFF」の表示が点灯します。

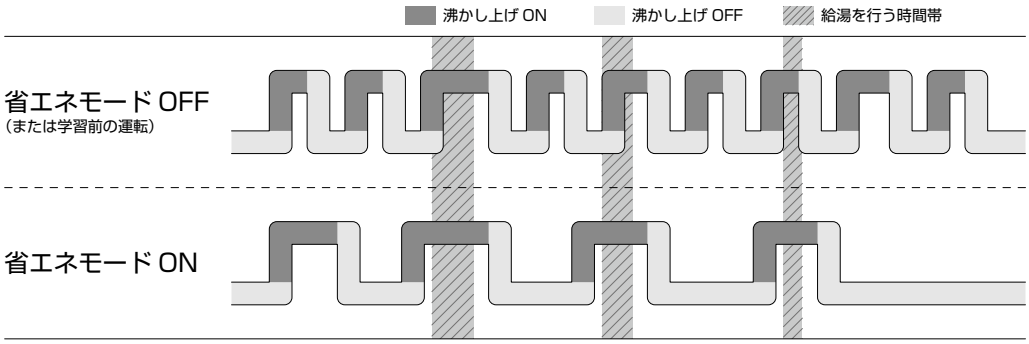
●「温度表示」と「サマータイム設定値（1Hまたは2H）」が交互に表示されます。

※左図はタイマー 1 運転中、サマータイム設定 1Hの場合。

省エネ運転

過去２週間の運転を学習し、最も効率の良い運転を自動で行う機能です。
工場出荷時はOFFに設定されています。

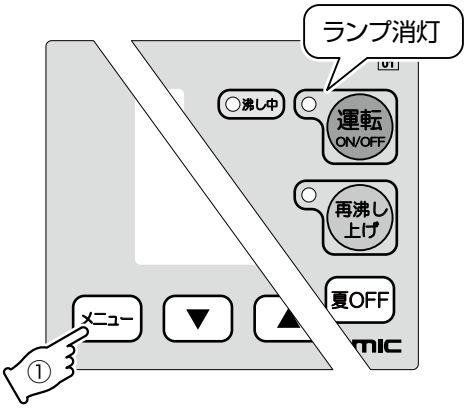
※各種設定変更を行った場合、夏OFF機能や運転停止日設定により運転停止を行った場合、停電が起きた場合には学習したデータはリセットされ、運転再開後から２週間は通常運転となります。



※省エネモード ONの場合、あまりお湯を使わない時間帯は設定温度～設定温度マイナス 10℃の範囲で湯温をキープします。(92℃ 設定時は92 ～ 82℃)
省エネモード OFFの場合は設定温度～設定温度マイナス 3℃の範囲で湯温をキープします。

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に [メニュー] を押す。

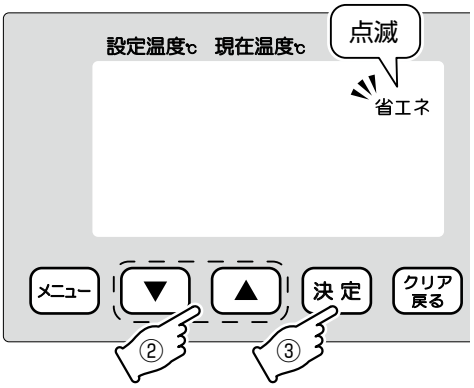
設定モードに入ります。



②[▼][▲]を押して、「省エネ」を選択する。

③[決 定]を押す。

省エネ運転設定モードに入ります。



④[▼][▲]を押して、「 On 」を選選択する。

⑤[決 定]を押す。

省エネ運転が設定されました。
初期画面に戻ります。

※省エネ運転を解除する場合は手順④で「 OFF 」を選択する。

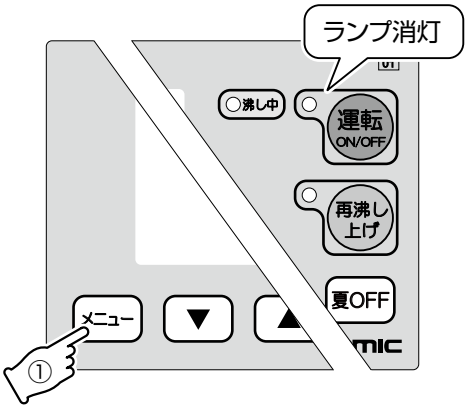
運転停止日の設定

設定した期間内の運転を停止させる機能です。(最大で６ヶ月間運転停止可能です。)
工場出荷時はOFFに設定されています。

※夏OFF運転と重なった期間で設定されている場合は夏OFF運転を優先して行います。
※複数の停止日予約はできません。(１つの設定が完了するまで次回の設定はできません。)

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に [メニュー] を押す。

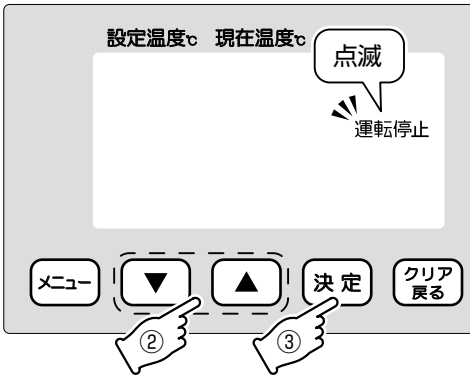
設定モードに入ります。



②[▼] [▲] を押して、「運転停止」を選択する。

③[決 定] を押す。

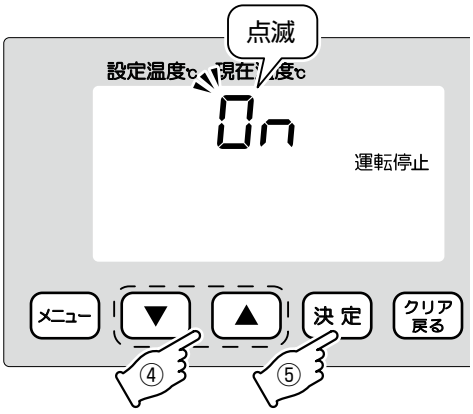
運転停止日設定モードに入ります。



④[▼] [▲] を押して、「 On 」を選択する。

⑤[決 定] を押す。

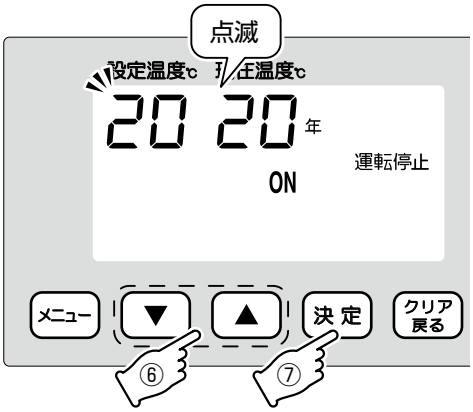
運転停止日設定画面になります。



⑥[▼] [▲] を押して、運転停止を開始する「年」を選択する。

⑦[決 定] を押す。

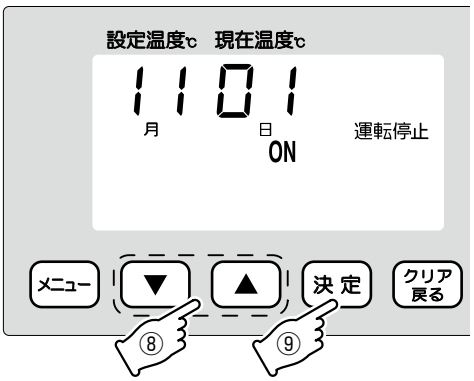
運転停止開始年が設定されました。
運転停止開始月日設定画面になります。



⑧ ▼ ▲ を押して、運転停止を開始する「月日」を選択する。

⑨ 決 定 を押す。

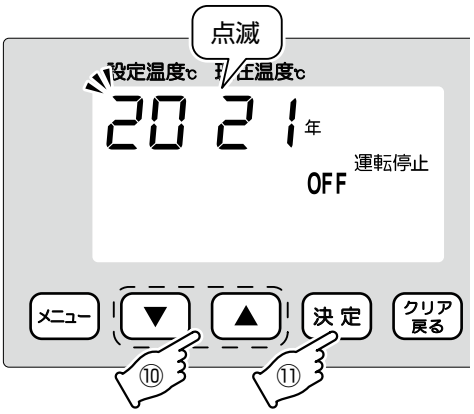
運転停止開始月日が設定されました。
運転停止終了年設定画面になります。



⑩ ▼ ▲ を押して、運転停止を終了する「年」を選択する。

⑪ 決 定 を押す。

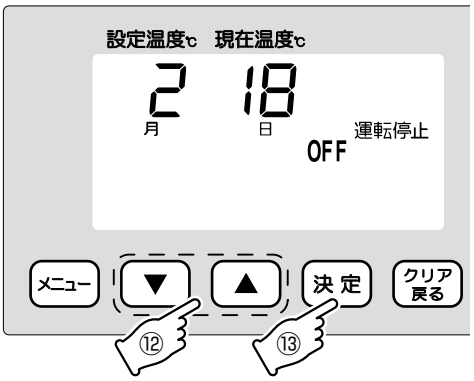
運転停止終了年が設定されました。
運転停止終了月日設定画面になります。



⑫ ▼ ▲ を押して、運転停止を終了する「月日」を選択する。

⑬ 決 定 を押す。

運転停止終了月日が設定されました。
初期画面に戻ります。



スイッチロック機能

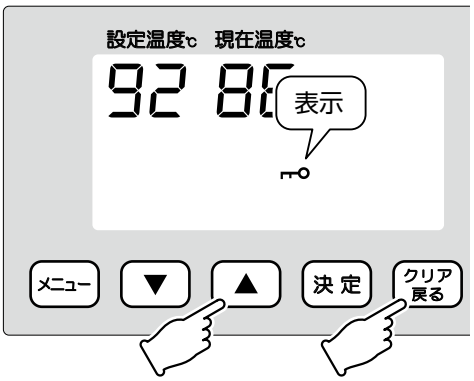
いたずらや誤操作を防止するため、操作スイッチを全てロックさせる機能です。
運転中、運転停止中どちらでもロックさせることが可能です。

※スイッチロック中にエラーが発生した場合には自動的にロックが解除されます。また、停電からの復帰後はスイッチロックが継続されます。

▲ と クリア 戻る を3秒以上長押しする。

「⊶」が表示されます。

※ロックを解除する場合は、「⊶」表示中に
▲ と クリア 戻る を3秒以上長押しする。

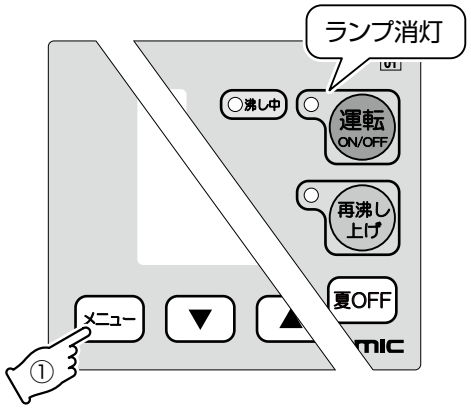


現在年月日・時刻の設定

現在年月日・時刻を変更したい場合は以下の操作をしてください。
※現在年月日・時刻は工場出荷時に設定されています。

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に メニュー を押す。

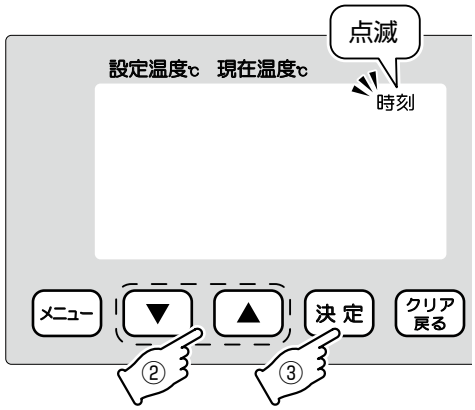
設定モードに入ります。



②▼ ▲を押して、「時刻」を選択する。

③決 定を押す。

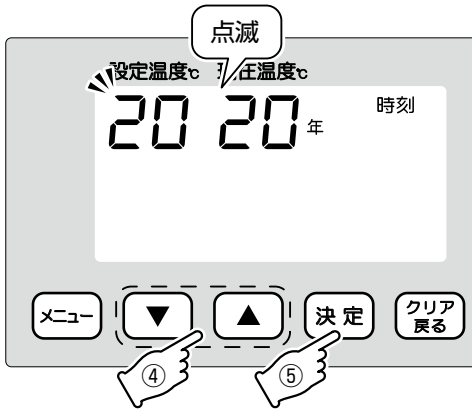
現在年月日・時刻設定モードに入ります。



④▼ ▲を押して、「現在年」を合わせる。

⑤決 定を押す。

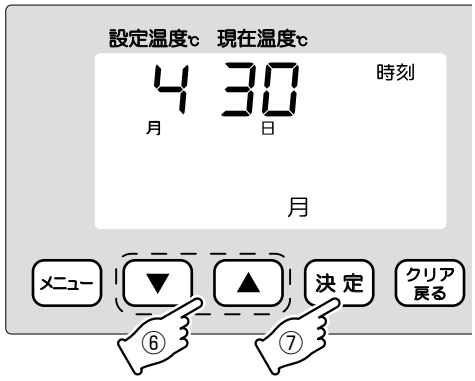
現在年が設定されました。
現在月日設定画面になります。



⑥▼ ▲を押して、「月日」を合わせる。

⑦決 定を押す。

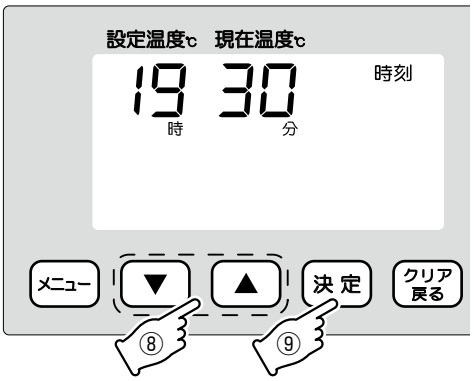
現在月日が設定されました。
現在時刻設定画面になります。



⑧ ▼ ▲ を押して「時刻」を合わせる。

⑨ 決 定 を押す。

現在時刻が設定されました。
初期画面に戻ります。



湯水入替機能 Cタイプ（自動湯水入替機能付き機種）のみ

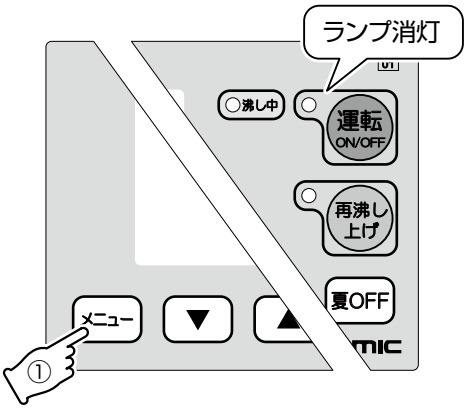
自動湯水入替設定の変更

設定した曜日のタイマー運転開始１時間前に、自動的にタンク内のお湯を入れ替える機能です。
工場出荷時は月曜日に設定されています。

※タイマー１、２で運転 ONに設定していない曜日は選択できません。
※複数の曜日を設定することはできません。
※夏OFFモードや運転停止日設定などで６日以上の運転停止をした場合、運転停止終了日の翌日がタイマー運転 ON 設定になっていると設定曜日以外でも湯水入替を行います。
※以下の場合は湯水入替を行いません。
・連続運転時
・タイマー運転終了時刻とタイマー運転開始時刻の間隔が１時間未満
・タイマー運転開始時刻が0:00 ～ 0:59の間（湯水入替時間が日をまたぐ設定になっている）

①運転停止中（運転ランプ消灯中）に メニュー を押す。

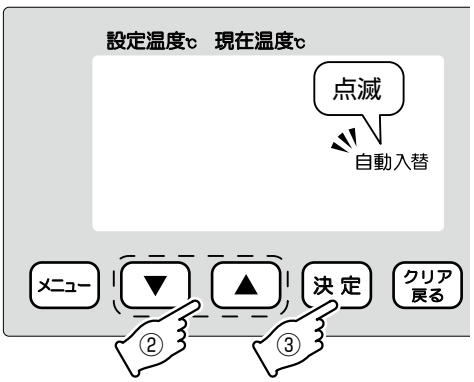
設定モードに入ります。



② ▼ ▲ を押して、「自動入替」を選択する。

③ 決 定 を押す。

自動湯水入替設定モードに入ります。



④ ▼ ▲ を押して、湯水入替をする曜日を選択する。

⑤ メニュー を押す。

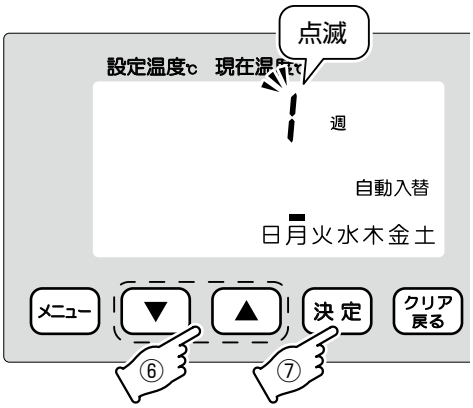
自動湯水入替を行う曜日が設定されました。
自動湯水入替を行う回数選択画面になります。

⑥ ▼ ▲ を押して、自動湯水入替を行う回数を選択する。

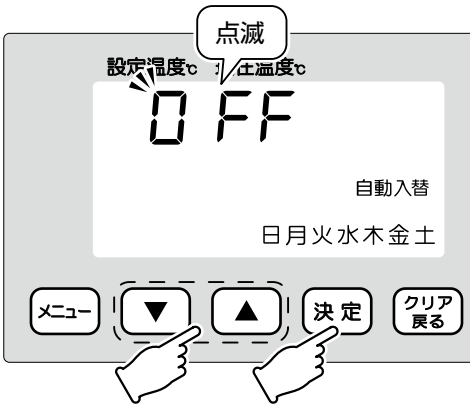
※自動湯水入替を行う回数は以下の３種類から選択できます。
１週…週に１回湯水入替を行います。
２週…２週に１回湯水入替を行います。
４週…４週に１回湯水入替を行います。

⑦ 決 定 を押す。

自動湯水入替設定が完了しました。
初期画面に戻ります。



※自動湯水入替機能をOFFにする場合は手順④で「 0 FF 」を選択し、決 定 を押す。



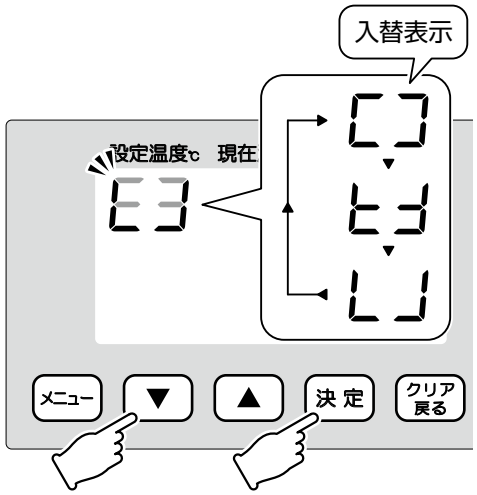
強制湯水入替

強制的にタンク内のお湯を入れ替える機能です。
運転中、運転停止中どちらでも湯水を入れ替えることが可能です。
※運転中に強制湯水入替を行った場合は、湯水入替終了後にタイマー運転に復帰します。

▼ と 決 定 を３秒以上長押しする。

湯水入替が開始され、「入替表示」が表示されます。

※強制湯水入替を解除する場合は、
クリア 戻る を押す。

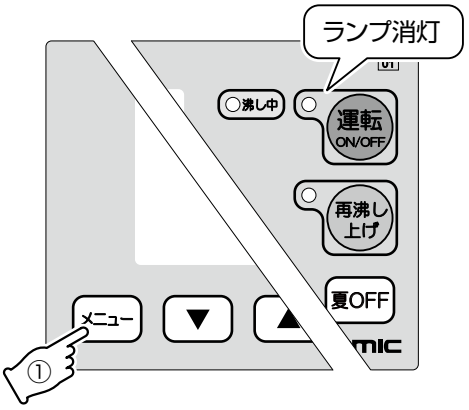


設定温度の変更

沸かし上げ設定温度を変更したい場合は以下の操作をしてください。
※工場出荷時は「92℃」に設定されています。

①運転停止中(運転ランプ消灯中)に メニュー を押す。

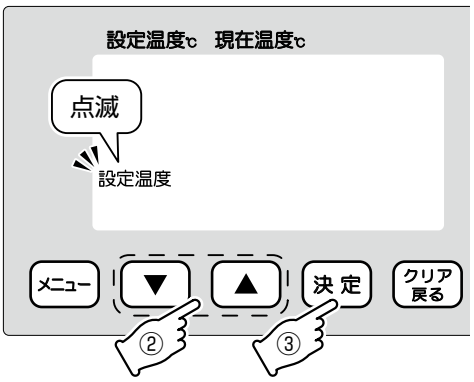
設定モードに入ります。



②▼ ▲ を押して、「設定温度」を選択する。

③決 定 を押す。

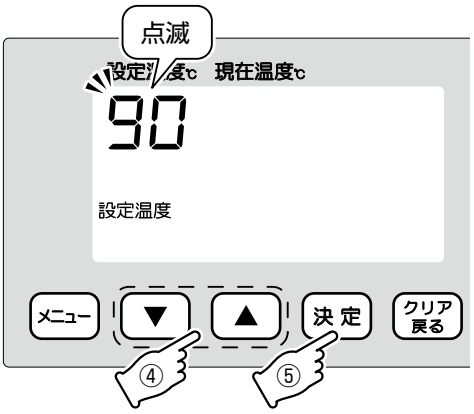
沸かし上げ温度設定モードに入ります。



④▼ ▲ を押して、希望する沸かし上げ温度に合わせる。

⑤決 定 を押す。

沸かし上げ温度が設定されました。
初期画面に戻ります。



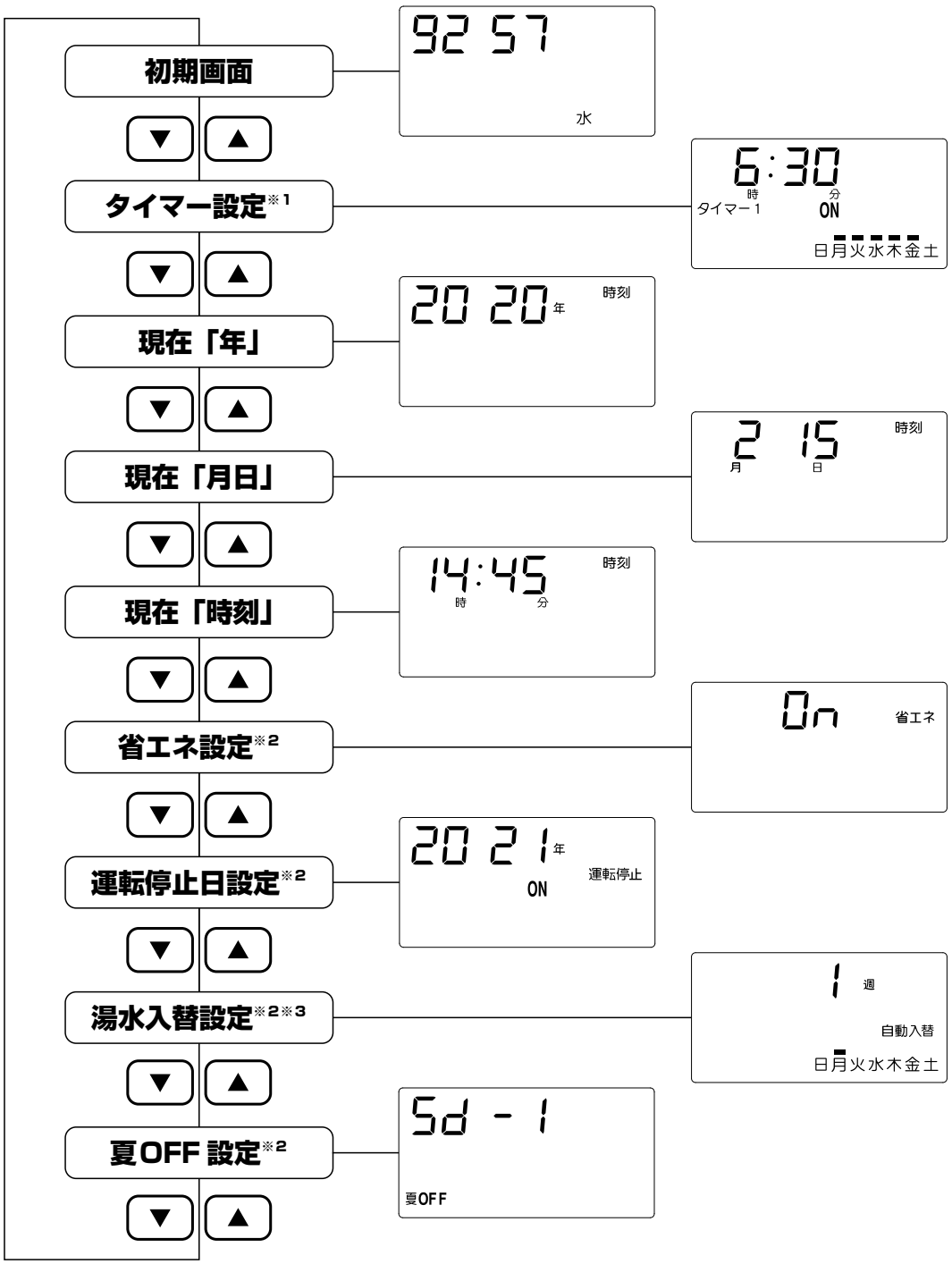
設定内容の確認

現在年月日・時刻、設定温度、タイマー設定などの内容を確認したいときは以下の操作をしてください。

① ▼ ▲ を押す。

押すごとに設定内容が下記の順で表示されます。

※ 10秒間スイッチ操作無し、または クリア 戻る を押すと初期画面に戻ります。



※1：タイマー ON ／ OFF時刻、または連続運転を表示します。
※2：設定がON状態のときのみ表示します。
※3：Cタイプ（自動湯水入替機能付き機種）のみ表示します。

お手入れの方法

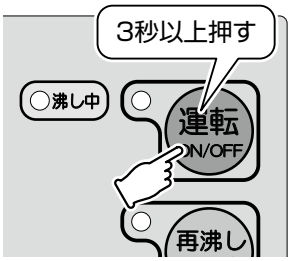
保守点検項目と実施の目安

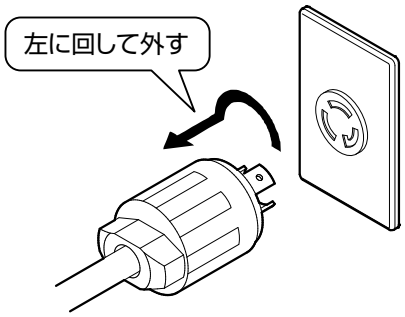
点検項目	点検内容	実施の目安
コードおよびプラグ	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	1回／月
重　要 逃し弁の動作確認	逃し管から常時水が出ていないか確認してください。(P.30『逃し弁の動作確認』参照)	
重　要 間欠エア抜き弁の動作確認	逃し管から常時水が出ていないか確認してください。(P.31『間欠エア抜き弁の動作確認』参照)	
漏水全般について	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回／日
タンク内部の清掃	給水栓および給湯栓を全開にしてタンク内の水を強制的に入れ替えてください。	1回／年

長期間使用しないときは

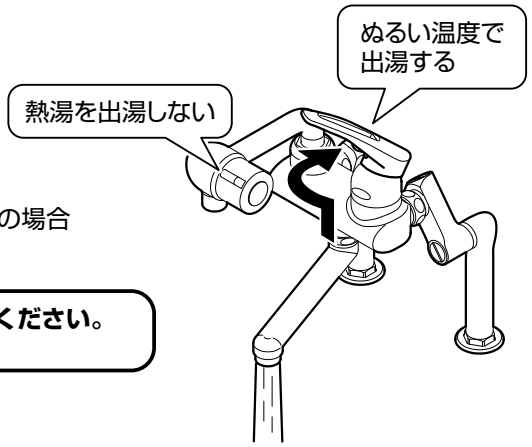
長期間、給湯器をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

① 運転 ON/OFF を3秒以上押して運転をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜く。





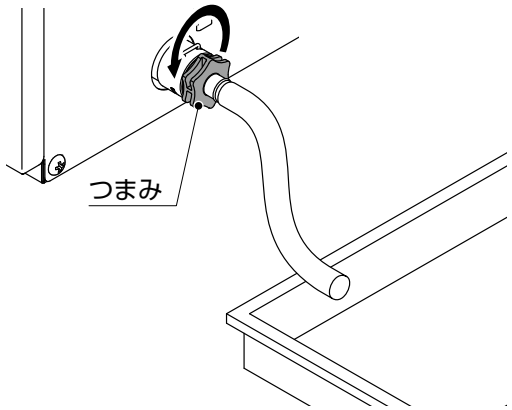
②お湯の温度を調整し、ぬるい温度で出湯する。
<u>完全に水になる</u>まで出し切ったら止水栓を閉める。



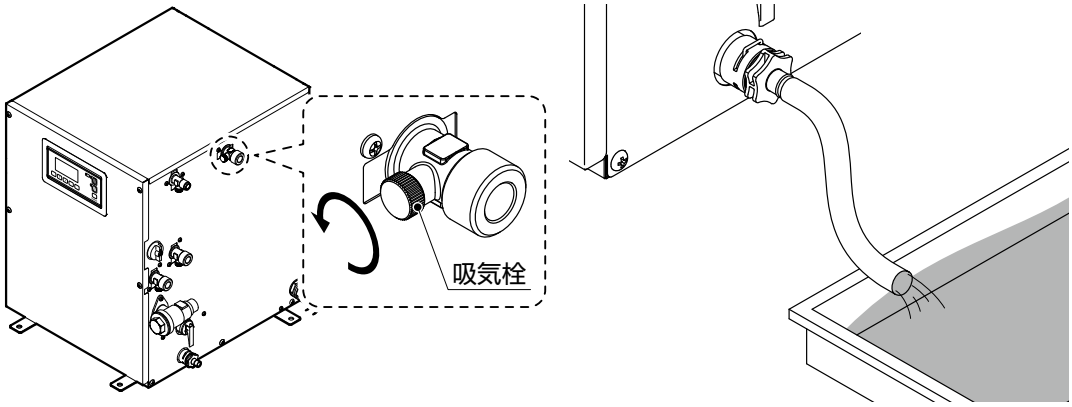
※図はMZ-3N3Pの場合

お湯を出すときは、必ず水を出してからお湯を出してください。
やけどをしたり、排水管などを破損する原因となります。

③排水を受ける容器を用意し、ホースを排水栓のホース挿入口にしっかりと挿し込む。
排水つまみを回す。(適合ホース内径：10mm)



④熱湯口の吸気栓を開き、排水する。



⑤排水が終了したら混合水栓、排水つまみ、吸気栓を閉める。

短期間使用しないときは

短期間給湯器を使用しない場合には、状況に応じてそれぞれ下記の対処を行ってください。

●ご使用を停止する場合
・運転をOFFにしてください。
※タンクが負圧となり破損する原因となるため、止水栓を閉めないでください。

●停電の場合
・給湯器の操作、止水栓の開閉等、機器や配管に対処する必要はありません。
停電からの復旧をお待ちください。

●断水の場合
・止水栓を閉め、断水が終了するまでお待ちください。
※タンクが負圧となり破損する原因となるため、運転をOFFにしないでください。

凍結防止対策

凍結のおそれがある場合は次のどちらかの方法にて機器の凍結予防措置を行ってください。

〈機器の運転を継続しつつ凍結を予防する場合〉
機内温度を氷点下にしないために、機器の通電を継続し沸かし上げを続けてください。また、凍結の可能性がある場所では各配管に対し、ヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。

〈機器の運転を停止し凍結を予防する場合〉

① P.27『長期間使用しないときは』の手順に従い、給湯器内の水を抜きます。

※排水が完了した後も水栓、排水栓、吸気栓は開けたままにしてください。

②給水口の給水配管を外す、もしくは給水口手前（一次側配管）の水抜き栓を開けてください。

※水抜き後、給水口の給水配管を外した場合は外したままにし、水抜き栓を開けた場合は閉めずに開放しておいてください。水抜きが完全でない場合には給湯器内部に水が残り、凍結により製品が破損してしまう可能性があります。

③再使用時には排水栓、吸気栓を閉めてください。また、外した給水配管や水抜き栓も閉めてください。

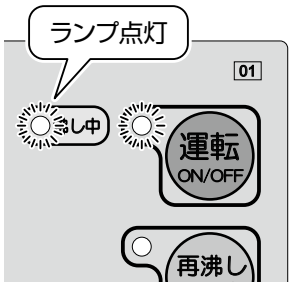
④ P.7『給湯器に給水する』～『出湯する』の手順に従ってください。

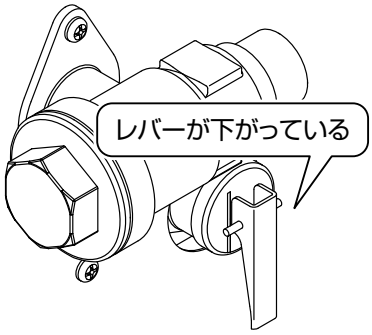
※機器内のタンクを満水にしてから機器の運転をしてください。故障の原因となります。

逃し弁の動作確認

逃し弁が作動しなくなるとタンクの破損や事故の原因となります。定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。

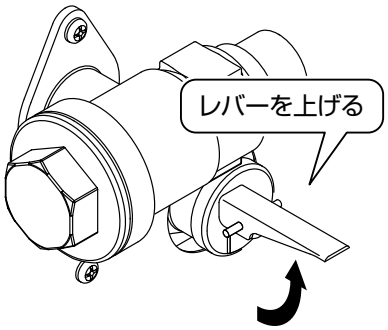
①沸し中ランプが点灯していること、逃し弁テストレバーが下がっていることを確認する。

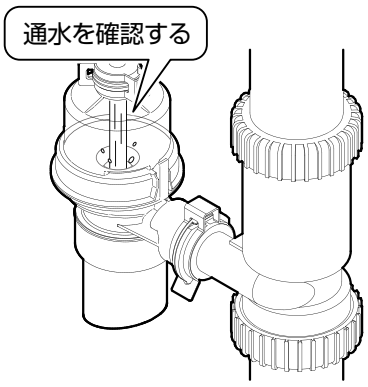




②間接排水が正常に行われていることを確認する。

③逃し弁テストレバーを上げ、通水を確認する。
※正常に排水しない場合は故障ですので、P.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。





④排水が確認できたら必ず逃し弁テストレバーを下げて水が止まることを確認する。
※レバーを上げたままの場合、水が排出され続けて沸かし上げに時間がかかります。

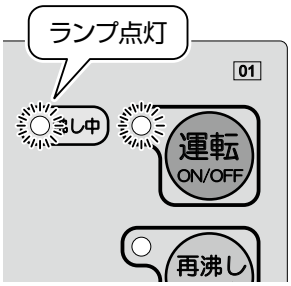
ワンポイント

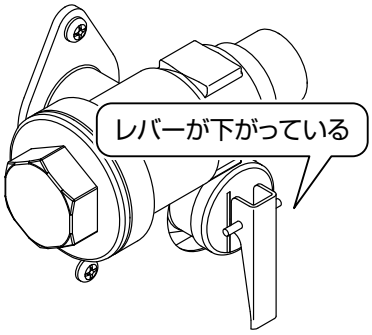
逃し弁の内部にゴミが付着すると水が流れ続ける場合があります。
そのようなときは逃し弁レバーを立て、しばらく水を流した後で再度確認を行ってください。

間欠エア抜き弁の動作確認

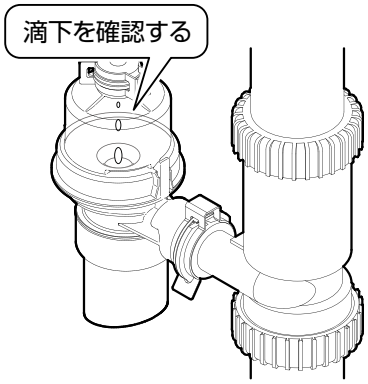
間欠エア抜き弁が作動しなくなるとタンク内に溜まった空気が給湯の際に吹き出して、やけどをするおそれがあります。定期的に間欠エア抜き弁の動作確認を行ってください。

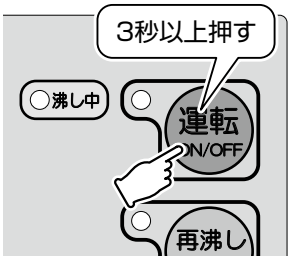
①沸し中ランプが点灯していること、逃し弁テストレバーが下がっていることを確認する。





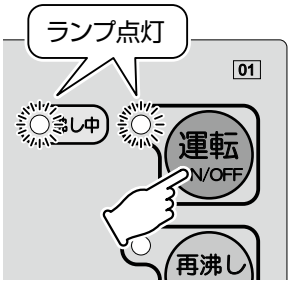
②間接排水が正常に行われていることを確認し、運転 ON/OFF を3秒以上押して運転をOFFにする。





③５秒以上たってから再び 運転 ON/OFF を押して運転 ONにし、空気が混ざった水の排出を確認する。

（約１秒間排出されます）



ワンポイント P

間欠エア抜き弁の内部にゴミが付着すると湯が流れ続ける場合があります。そのような時は、運転スイッチもしくは自動運転のON ／ OFF操作を１～２回※繰り返してください。それでも流れ続ける場合はP.41アフターサービス窓口までご連絡ください。

※過度にON ／ OFF操作を行うと故障の原因となりますのでご注意ください。

ストレーナーの清掃

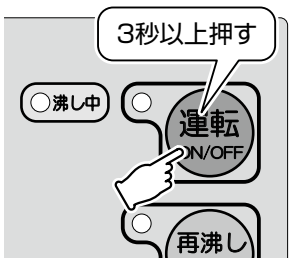
ストレーナーにゴミが詰まるとタンク内への給水量が少なくなり、機器の故障の原因となります。
混合水栓から出るお湯(水)の量が少なくなりましたら清掃を行ってください。

清掃前の準備

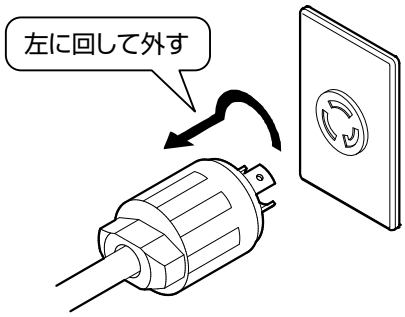
P.27『長期間使用しないときは』を参照し、排水を行ってください。

清掃の手順

① 運転 ON/OFF を3秒以上押して運転をOFFにして、

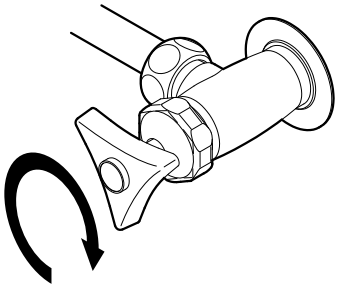


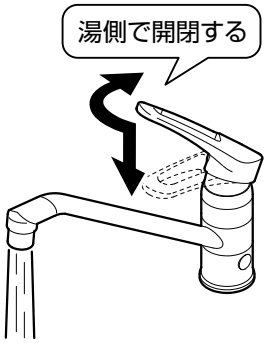
②電源プラグをコンセントから抜く。



③止水栓をしっかりと閉める。

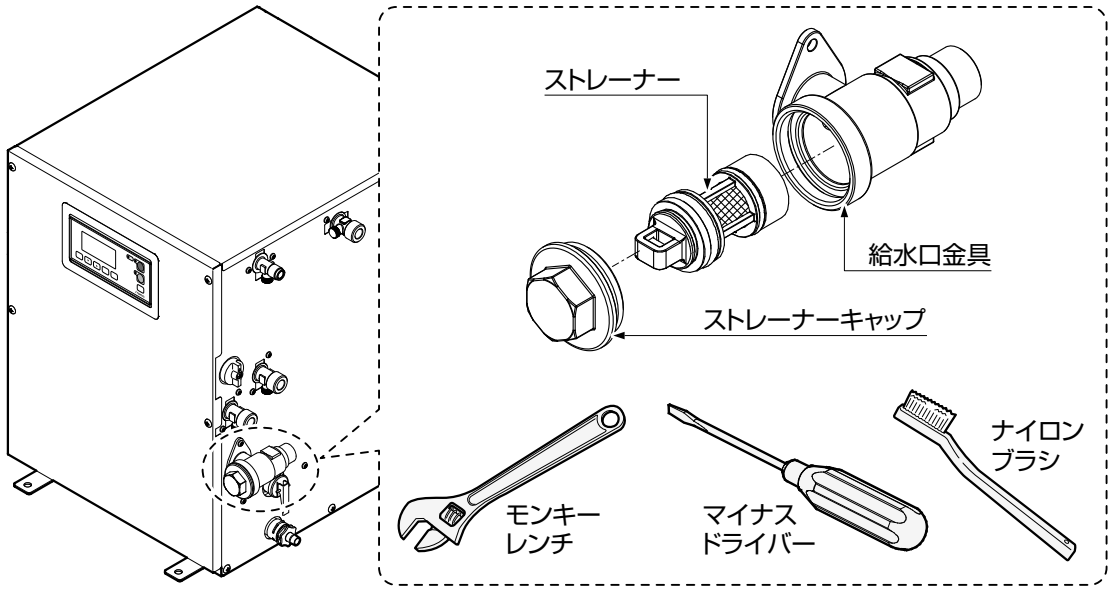
④給湯器内部の圧力を逃がすため、水栓のお湯側を開閉する。





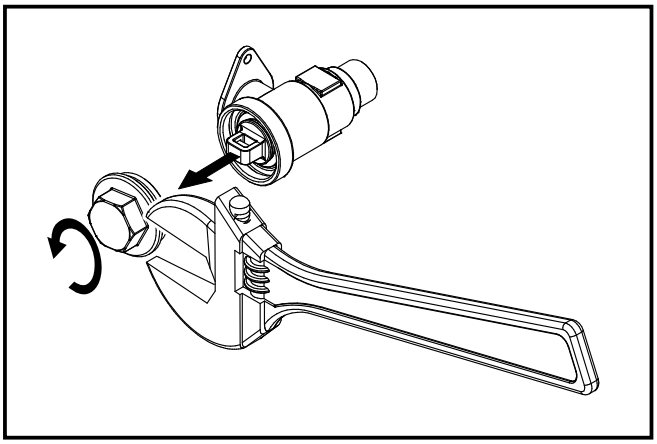
※図はシングルレバー混合水栓の場合

⑤ストレーナーの構造と、清掃に必要な工具は下図の通りです。
※マイナスドライバーではなく、コンビネーションプライヤーを利用することも可能です。



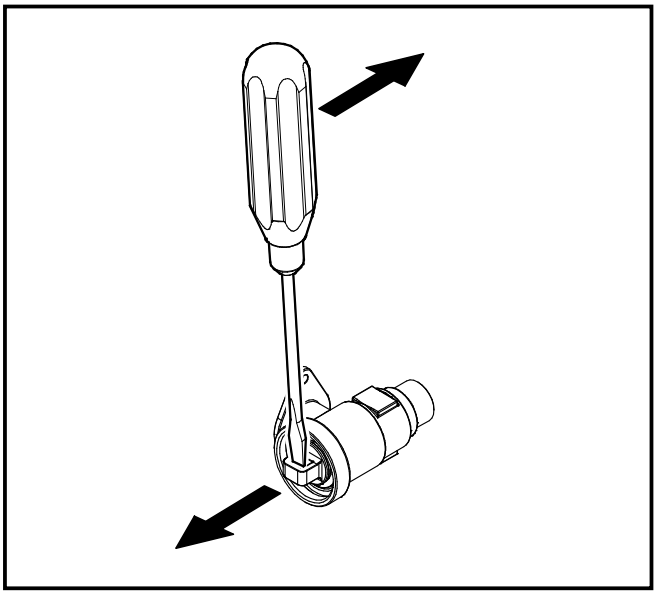
⑥モンキーレンチやスパナ等でストレーナーキャップを回して取り外します。

注：製品周辺の空間が小さいなど、設置場所によってストレーナーキャップが取り外しにくい場合は、持ち手の短い工具を使用してください。

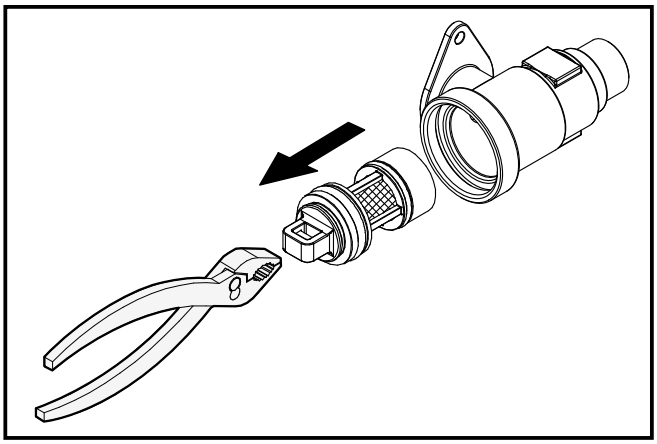


⑦ストレーナーの長穴にマイナスドライバーを差し込み 、矢印の方向に動かしてストレーナーを外します。

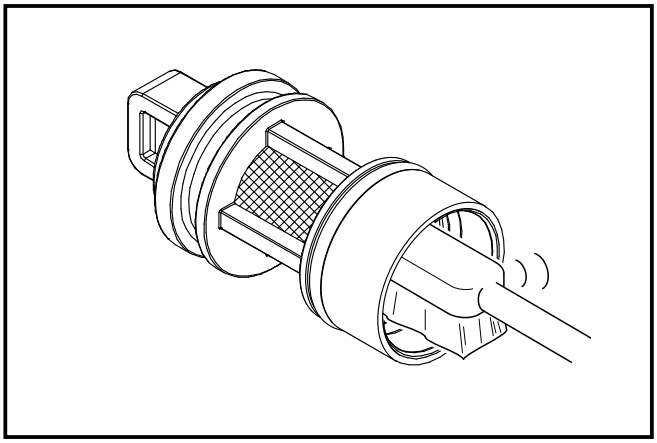
注：ストレーナーを取り外した際に少量の水が出ますので、水を受けるものを用意してください。



◆ コンビネーションプライヤーなどを利用する場合は 、ストレーナーのつまみ部をつかみ、水平に取り外します。



⑧フィルター部分に詰まったゴミをナイロンブラシなどで取り除く。

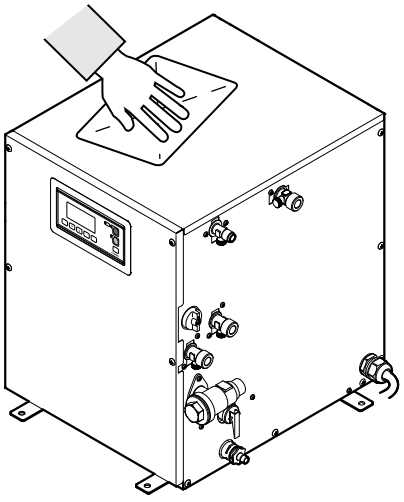


⑧ストレーナーを取り外しと逆の要領で取り付けた後、給水を行い、漏水がないか確認してください。(給水方法はP.7『給湯器に給水する』参照)

※漏水があった場合は再度取り付け直してください。

外装のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。
薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



こんなときは

故障かな？と思ったら

給湯器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。

状況	ご確認ください	対処方法
お湯が沸かない お湯にならない	一次側の漏電ブレーカがOFFになっていませんか？	漏電ブレーカをONにしてください。
	運転がOFFになっていませんか？	運転をONにしてください。
	電源プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	タイマーの設定が正しく行われていますか？	タイマーの設定をご確認ください。 設定方法はP.11『タイマー運転』参照。
	夏OFFがONになっていませんか？	夏OFFの設定をご確認ください。P.14『夏OFF運転』参照。
	運転停止日の設定がONになっていませんか？	運転停止日の設定をご確認ください。 P.20『運転停止日の設定』参照。
	安全装置が作動していませんか？	本器には「空焚き検出」および「過昇温検出」兼用装置が装備されています。復帰するには給湯器の運転を停止し、管理技術者の方にご依頼ください。リセットの手順はP.39『リセットの方法』参照。
	電圧が誤っていませんか？	100Vの給湯器を200Vで使用すると、ヒーターが断線します。200Vの給湯器を100Vで使用することはできません。
	ヒーターの故障ではありませんか？	管理技術者の方に依頼し、ヒーターの導通を測ってください。故障の場合はP.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。
	停電ではありませんか？	復旧までお待ちください。
湯温が低い または 沸き上がり時間が長い	設定温度が低くありませんか？	設定温度を希望の温度に設定してください。P.25『設定温度の変更』参照。
	お湯を大量に使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。沸き上がるまでお待ちください。 P.6『沸き上がり時間の目安』参照。
	逃し弁は正常ですか？ お湯が逃し管から出続けていませんか？	通電時、逃し管からポタポタ出るのは正常ですが常時吹き出しているのは故障です。ゴミがかんでいたり減圧弁の故障の可能性もあります。動作確認の手順はP.30『逃し弁の動作確認』参照。正常に動作していない場合はP.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。
	水温が低くありませんか？	秋から冬にかけては水温が急激に下がるため、沸き上がり時間が長くなります。 P.6『沸き上がり時間の目安』参照。
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足してませんか？	止水栓を開いて調整してください。 減圧弁やストレーナーに詰まりがある場合は管理技術者の方に依頼し、取り除いてください。 清掃手順はP.32『ストレーナーの清掃』参照。
	止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開けてください。

状況	ご確認ください	対処方法
混合水栓の水側を開いたときにお湯が出る（水がぬるい）	お湯が出るのは一時的ですか？	沸かし上げ直後や出水を長期間していない場合など、電気給湯器の熱が給水配管に伝わり、出水経路の水が温まることがありますが、故障ではありません。そのまま流すことにより水になります。
	常時お湯が出ますか？	工事要領書をご確認し、配管施工に間違いがある場合は施工業者様へご連絡ください。間違いがない場合はご利用を中止し、P.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか？	設置直後などは工事の際の切削油等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。
	長期間の休止後ではないですか？ または 断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。混合水栓から水を出し続けてタンク内の水を入れ替えてください。
漏水している	本体からですか？	止水栓を閉めた後、その旨をP.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	各配管接続部の場合は締め直してください。 膨張水の処理配管接続部も点検してください。
湯沸器本体から音がする	沸し上げ中ですか？	沸かし上げ中は湯温の上昇に伴って湯沸器本体から沸かし上げ音がする場合がありますが、故障ではありません。
吐水時に水栓から音がする	出湯されたお湯に空気を含んでいますか？	沸し上げの際、水中に溶けていた空気や水蒸気が発生し、給湯時に湯に混入することで白く濁る場合があります。また、音がしたり、お湯の出方が乱れる場合がありますが故障ではありません。
給水時、給湯器本体や配管が振動音を発する	配管はしっかり固定されていますか？	給水管に長いフレキ管を使用している場合、しっかり固定されていないと「ウォーターハンマー現象」が起き、振動音が出ることがありますので、しっかり固定してください。

その他の不具合およびエラーメッセージについて

P.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。

停電後の対応について

停電後は、停電が起こったときの運転状態で復帰します。
自動運転中に停電が起きた場合は自動運転で、運転 OFF 中に停電が起きた場合は運転 OFFで復帰します。

また、停電後には以下のことをご確認ください。

ご確認ください	対処方法
現在年月日、現在時刻の設定は正しいですか？	正しい場合はそのままお使いいただけます。 誤っている場合は、P.22『現在年月日・現在時刻の設定』を参照し、再設定してください。

エラー表示

使用中にコントローラー表示部にエラー表示が出たら下表を参照し、処置してください。
※エラーが発生すると自動的に運転 OFF 状態となり、ブザー報知します。ブザーを止める際は運転スイッチを1回押してください。
運転を再開するときは原因を取り除いたうえで運転 ONにしてください。

表示	異常内容	考えられる原因／対処方法
E 11 E 13	過昇温検出	リレーの溶着 ⇒リレーの交換 P.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。
E 14	空焚き検出	空焚き運転の検出 ⇒給湯器への給水、またはリセット P.7『給湯器に給水する』を参照し、給水してください。給水後、電源プラグをコンセントに差し、運転をONにしてください。 上記対処後にお湯が沸かない、または同じエラーが発生した場合はP.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。 リセットの手順はP.39『リセットの方法』参照。
E 41 E 42	温度センサ異常	サーミスタの断線 ⇒該当部品交換 P.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。
E 51 E 52	温度センサ短絡	サーミスタの短絡 ⇒該当部品交換 P.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。
E 61	沸かし上げ異常	ヒーター、または接続電線の断線。もしくはヒーター用リレーの故障 ⇒該当部品交換 P.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。
E 71	メモリ異常	プログラムデータの破壊、または通信エラー ⇒運転 ONに戻すと、運転を再開します。その際、設定温度、タイマー運転時刻が変更されていないかプログラム設定を再確認してください。
E 91	高温排水検出	間欠エア抜き弁のゴミ噛みまたは故障 ⇒逃し管、逃しホースの接続先から水が出続けるか確認してください。 水が出続けている場合は、運転をONにして間欠エア抜き弁を動作させてください。 ①間欠エア抜き弁の動作後、水が止まった場合 間欠エア抜き弁のゴミ噛みです。 その後機器が正常に動作すれば、ゴミ噛みは解消されています。 ②間欠エア抜き弁の動作後、水が出続ける場合 間欠エア抜き弁の故障です。 給湯機の運転をOFFにし、電源プラグをコンセントから外してP.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。
E 111	RTC 通信異常	⇒再起動、または時刻の再設定 再起動する場合は、一次側電源をOFF⇒ ONにする、または一度電源プラグを外してから挿し直して、湯沸器を再起動してください。 時刻を再設定する場合は、P.22『現在年月日・時刻の設定』参照。 再起動後に同じエラーが発生した場合は、P.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。

表示	異常内容	考えられる原因／対処方法
E121	コネクタ 接続不良	⇒再起動 一次側電源をOFF⇒ ONにする、または一度電源プラグを外してから挿し直して、給湯器を再起動してください。 再起動後に同じエラーが発生した場合は、P.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。
00:00 （初期画面との交互表示） または 	電池切れ	⇒電池交換 電池の寿命は約５年です。（目安） P.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。 ※ただし、表示が出ても以下の方法により運転を再開することが出来ます。 ①表示中にタイマーを連続運転に設定し、運転をONにする。 ②表示中に時刻設定を行い、運転をONにする。 **注意！** ②の場合、一度電源がOFFになると再度時刻設定が必要になります。

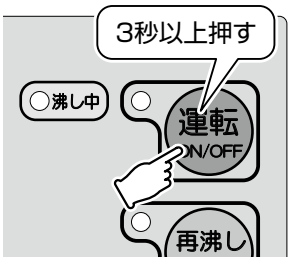
リセットの方法 管理技術者の方

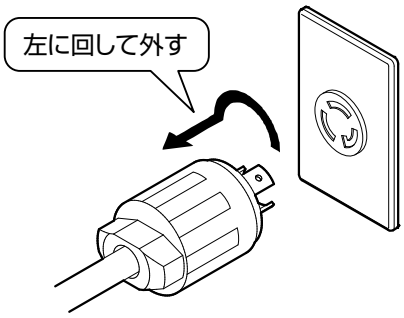
お願い

この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

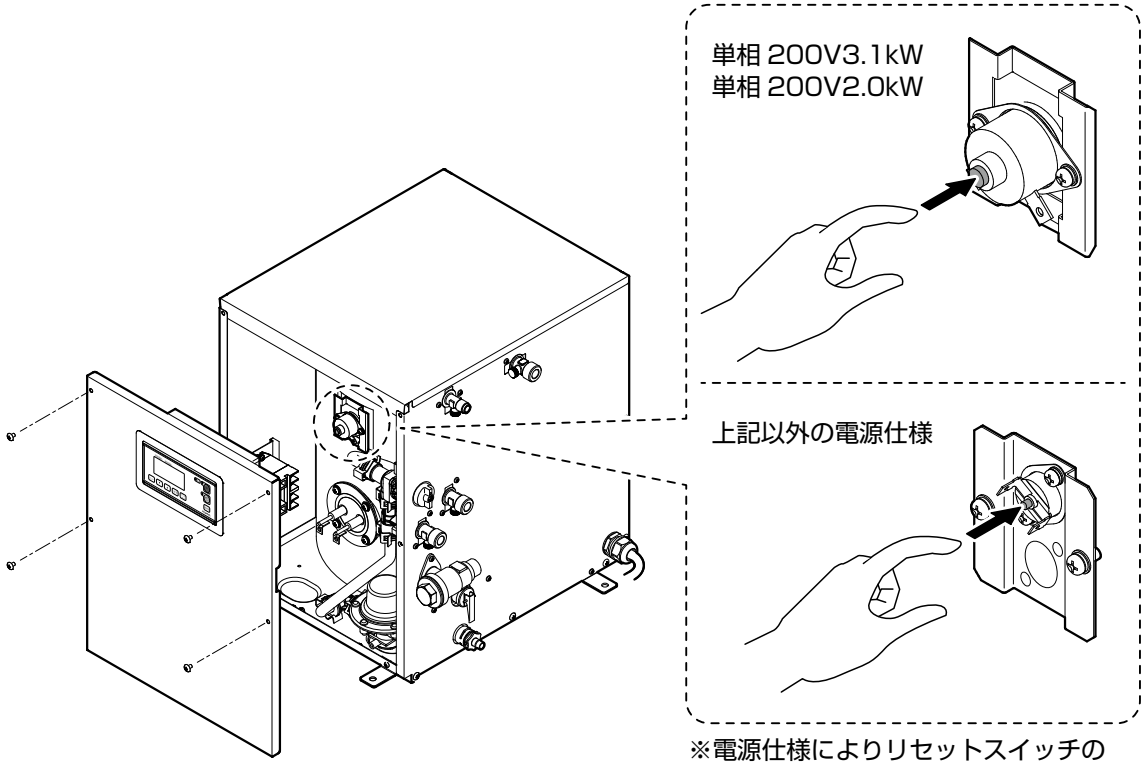
本製品は空焚き運転を検出(「E 14」が発生)すると安全装置が作動し、機器の運転を停止します。
P.37の対処を行っても改善されない場合には下記の手順でリセット操作を行ってください。

① 運転 ON/OFF を3秒以上押して運転をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜く。





②前面パネルを取り外し、下図のリセットスイッチを押す。



※電源仕様によりリセットスイッチの形状が異なります。

機器内部が高温になっている場合がありますので、リセットスイッチ以外に触れないでください。
やけどの原因となります。

アフターサービス

消耗品について

<u>下表に記載する部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため、定期的に交換してください。</u>
部品交換（有償）はP.41 アフターサービス窓口までご連絡ください。

部品名		交換時期の目安	交換いただく理由
弁・パッキン	逃し弁	設置、交換日より ３～５年	長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。（※水道水中のミネラル分が固着したもの。）
	減圧弁		
	混合弁		
	電磁弁		
	逆止弁		
	ストレーナー		
	Oリング・パッキン類		
電装部品	ヒーター		
	コントローラー	設置、交換日より ５～７年	
	過昇温防止スイッチ		
	センサー類		
	ケーブル・コード・配線類		
	その他電装類		
その他	シリコンホース		

※使用頻度、環境によっては交換が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後７年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の弊社リニューアル部までご連絡ください。また、部品のご注文はアフターサービス窓口にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼の際には、P.41の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。
（型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。）

保証票　電気温水器

型　番
貯　湯　量　L
満水質量　約　kg
最高使用圧力　0.1MPa

電　源　屋内用
周　波　数　50/60Hz
消費電力

保証期間　納入後３年間
製造番号

株式会社日本イトミック

アフターサービス窓口

TEL **〈全国共通ナビダイヤル〉**

一般電話・公衆電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間：24 時間 365 日（営業時間：8：45～17：45）

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03（3621）2161　関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所・地区販売会社にお問い合わせください。

インターネット **〈インターネット修理受付窓口〉**

https://www.itomic.co.jp/repair/

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX **〈FAX 修理受付窓口〉　03（3621）2163**

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。以下の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所・地区販売会社へお送りください。（裏表紙に記載）

故障状況シート

貴　社　名		ご担当者名	
ご　住　所			
T　E　L		F　A　X	
製品型番	ESD＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿		
電源／電力		製造番号	
設置場所		納入年月	

状　　態

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示のうえ、アフターサービス窓口にご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
   （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・タンク内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
   （２）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
   （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
   （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
   （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
   （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
   （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
   （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
   （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
   （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
   （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
   （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
   （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認いただくとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧いただくか、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
ホームページ　https://www.itomic.co.jp/

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料金でOK ナビダイヤル®

0570−011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所もしくは地区販売会社まで直接お電話ください。

関東地区お問い合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2161**
FAX：03（3621）2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル部までご連絡ください。
また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2760**
FAX：03（3621）2160

《担当エリアと営業所・地区販売会社》

北海道地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：011（615）6681**
北海道営業所 **FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10（ラポール 24 軒 2 号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：022（357）0848**
東北営業所 **FAX：022（357）0847**
〒983-0014　宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121**
（株）日本イトミック　本社 **FAX：03（3621）2130**
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

中部・北陸地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：052（222）2561**
中部営業所 **FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12（アレックスビル 3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：06（7177）4949**
関西営業所 **FAX：06（7177）4948**
〒541-0056　大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：082（240）1361**
中国営業所 **FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町 2-3-9（大手町中村ビル 2F）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：092（481）3911**
九州営業所 **FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

SD00D20001-3　　'21.11-3-1-4.5 ①